114.3
501

第二十二回
帝國議會

貴族院事務局報告

帝國議會
第二十二回

貴族院事務局報告

明治
30 11 21

PZ
3
01

例言

一本書ハ明治三十八年二月二十九日即チ第二十一回帝國議會閉會式ノ翌日ヨリ同三十九年三月二十八日即チ第二十二回帝國議會閉會式ニ至ルマテノ事項ヲ類別纂輯ス

一議案ノ速記錄ニ記載シタルモノハ本書各項ノ下ニ速記錄ノ號數ヲ記シテ參照ニ便ス其ノ速記錄ニ記載セサルモノ其ノ他議事ニ關スル報告書竝本院ト政府又ハ衆議院トノ間ニ於ケル議事ニ關スル往復書類ハ總テ本院ノ編纂ニ係ル速記錄附錄中ニ輯錄セルヲ以テ就テ參照スヘシ

第二十二回帝國議會貴族院事務局報告

目次

第一章　召集及成立　一頁
第二章　開會式及閉會式　十四頁
第一節　開會式　十四頁
第二節　閉會式　十九頁
第三章　慶頌、哀弔、謝辭等　二十頁
第一節　慶頌　二十頁
第二節　哀弔　二十一頁
第三節　謝辭等　二十四頁
第四章　議員、委員、國務大臣及政府委員　二十九頁
第一節　議員席次　二十九頁
第二節　議員異動　四十二頁
第一　死亡　四十二頁

第二節 辭職 四十三頁
第三 補闕選擧 四十四頁
第四 新任 四十六頁
第五 就職 四十七頁
第三節 全院委員長 四十七頁
第四節 常任委員 四十七頁
第五節 國務大臣及政府委員 五十九頁
第五章 議事 七十頁
第一節 法律案 七十頁
第一 政府提出案 七十頁
第二 衆議院提出案 百五十六頁
第三 貴族院議員提出案 百七十九頁
第二節 承諾ヲ求ムルノ件 百八十頁
第三節 豫算案及豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件 百八十五頁
第四節 決算 百九十三頁
第五節 上奏案 百九十五頁
第六節 建議案 百九十七頁
第七節 動議案 百九十八頁
第八節 質問 百九十九頁
第九節 請願 二百頁
第六章 諸表 二百十五頁
一 議案件數表 二百十六頁
一 議案表 二百十九頁
一 質問表 四百三十三頁
一 議事日表 四百三十四頁
一 自第一回議會至第二十二回議會開會日時比較表 四百五十五頁
一 自第一回議會至第二十二回議會議案件數、議事件數、開會日數及時間數

一覽表 四百五十八頁
委員概表 四百六十頁
常任委員會細表 四百六十七頁
請願書類別表 四百八十四頁
請願書道府縣別表 四百八十六頁
自第一回議會至第二十二回議會請願書件數比較一覽表 五百二頁
議員出席闕席表 五百三頁
自第一回議會至第二十二回議會議員出席比例一覽表 五百五頁
自第一回議會至第二十二回議會傍聽人員表 五百八頁
自第一回議會至第二十二回議會印刷物比較表 五百十頁

第一章 召集及成立

○第一章 召集及成立

明治三十八年十月十三日左ノ帝國憲法第七條及第四十一條ニ依リ本年十二月二十五日ヲ以テ帝國議會ヲ東京ニ召集ス

十二月二十五日貴族院議員召集ノ勅諭ヲ奉シテ貴族院ニ集會ス午前九時十四分議長ハ議員ノ議場ニ集メ席次表ニ依リ著席セシム

議長ハ貴族院規則第五條ニ依リ書記官ヲシテ抽籤セシメ議員ノ部屬ヲ定ムルコト左ノ如シ

第一部

貞愛親王殿下　邦芳王殿下　博恭王殿下

公爵 一條實輝　侯爵 大山巖　侯爵 中山孝麿

侯爵 嵯峨公勝　侯爵 松平康莊　侯爵 池田詮政

侯爵 池田仲博　子爵 芳川顯正　伯爵 大原重朝

伯爵　吉井幸藏
男爵　清浦奎吾
子爵　久留島通簡
子爵　松平忠嶺
男爵　淺田德則
男爵　島津珍彥
男爵　二條正麿
　　重野安繹
　　江角柳四郎
　　森廣三郎

伯爵　松木宗隆
子爵　京極高典
子爵　山井兼文
男爵　水野直
男爵　中川與長
男爵　平野長祥
　　石井省一郎
　　秋月新太郎
　　谷井勘藏

男爵　鄉純造
子爵　堀田正養
子爵　永井尙敏
男爵　前島密
男爵　小野尊光
男爵　清水資治
　　渡正元
　　阿由葉吟次郎
　　澤原俊雄

第二部

菊麿王殿下

侯爵　鍋島直大
伯爵　萬里小路通房
子爵　渡邊昇

侯爵　四條隆愛
伯爵　德川達孝
子爵　平松時厚

伯爵　清棲家教
子爵　曾我祐準

子爵　山本實庸
子爵　松平康民
男爵　小畑美稻
　　長谷部辰連
男爵　伊達宗敦
男爵　南　光利
男爵　吉川重吉
男爵　安場末喜
男爵　本多政以
　　山田爲暄
　　加藤正恵
　　菊池長四郎
　　本間千代吉
　　道源權治

子爵　大宮以季
子爵　前田利定
男爵　金子堅太郎
男爵　伊達宗敦
　　關義臣
男爵　河邊博長
　　南鄉茂光
　　岩村彙善
　　木村誓太郎
　　永澤清之助
　　田代保之

子爵　京極高德
　　辻新次
　　名村泰藏

第三部

依仁親王殿下

侯爵　西園寺公望
侯爵　德川義禮
伯爵　坊城俊章

侯爵　大久保利和
伯爵　島津忠亮

伯爵　柳澤保惠
子爵　仙石政固
子爵　青山幸宜
子爵　入江爲守
男爵　加藤弘之
男爵　末松謙澄
男爵　菊池大麓
　田邊輝實
男爵　紀俊秀
　馬屋原彰
　中村雄次郎
　日高榮三郎

第四部

守正王殿下

子爵　長岡護美
子爵　竹內惟忠
子爵　大久保忠順
子爵　松平直德
男爵　尾崎三良
男爵　岩村高俊
男爵　四條隆平
男爵　本多副元
男爵　眞田幸世
　木下廣次
　兒玉利國

子爵　岡部長職
子爵　一柳末德
子爵　大田原一清
子爵　牧野忠篤
男爵　松平正直
　前田正名
男爵　石黑忠悳
男爵　實吉安純
　森山茂
　目賀田種太郎
　宮本谷藏

恒久王殿下

侯爵　淺野長勳

伯爵　宗重望
男爵　楫取素彥
子爵　唐橋在正
子爵　高木正善
　松岡康毅
男爵　船越衛
男爵　沖守固
男爵　小早川四郎
　何禮之
　高崎親章
　高木豐三
　高橋是清
　下鄉傳平

第五部

伯爵　廣澤金次郎
子爵　伏原宣足
子爵　井伊直安
子爵　山內豐誠
男爵　北垣國道
男爵　野田豁通
男爵　川崎祐名
男爵　千秋季隆
　富田鐵之助
　後藤新平
　山本達雄
　神野金之助

子爵　谷　干城
子爵　裏松良光
子爵　松平乘承
子爵　新莊直陳
　三浦安
男爵　佐野延勝
男爵　南岩倉具威
男爵　淺野守夫
　大澤謙二
　岡田良平
　室田義文
　宮崎喜久太郎

公爵 島津忠済　侯爵 佐竹義生　侯爵 山内豊景
伯爵 松浦詮　男爵 曾禰荒助　子爵 伊東祐麿
子爵 鍋島直柔　子爵 三島彌太郎　子爵 高野宗順
子爵 有馬頼之　子爵 堀河護麿　男爵 伊藤雋吉
男爵 千家尊福　男爵 周布公平　男爵 鈴木大亮
服部一三　大浦兼武　久保田譲
男爵 藤村紫朗　男爵 西五辻文仲　男爵 玉松眞幸
男爵 新田忠純　男爵 山内豊政　男爵 毛利五郎
男爵 長松篤棐　男爵 諫早家崇　安藤則命
中島永元　鮫島武之助　奥山政敬
野崎啓造　安廣伴一郎　安楽兼道
下條正雄　一木喜徳郎　河島醇
三崎龜之助　野崎武吉郎　廣海二三郎
並木和一

第六部

威仁親王殿下　多嘉王殿下

公爵 三條公美　侯爵 徳大寺實則　侯爵 久我通久
侯爵 木戸孝正　侯爵 西郷寅太郎　伯爵 松平直亮
伯爵 宝町公大　男爵 本田親雄　子爵 堤功長
子爵 野宮定穀　子爵 本田忠敬　子爵 稲垣太祥
男爵 小澤武雄　男爵 鍋島幹　兒島惟謙
平山成信　男爵 茨木惟昭　山脇玄
男爵 千田貞暁　男爵 松本順　男爵 村田經芳
男爵 安藤直行　男爵 杉渓言長　男爵 高崎安彦
男爵 徳川厚　男爵 小原適　西村亮吉
松本鼎　古市公威　富井政章
宮島誠一郎　佐々木嘉太郎　橋本雄造
坂本理一郎　岩月直彦　五藤正形

下村辰右衛門

第七部

邦憲王殿下　公爵　九條道孝　侯爵　伊藤博文
侯爵　尚典　侯爵　細川護成　侯爵　大炊御門幾麿
男爵　岩村通俊　伯爵　柳原義光　子爵　加納久宜
子爵　内田正學　子爵　本莊壽巨　子爵　黒田和志
子爵　樋口誠康　子爵　青木信光　子爵　松平直敬
宮本小一　三好退藏　濱尾新
男爵　赤松則良　男爵　渡邊千秋　男爵　調所廣丈
村田保　小松原英太郎　男爵　藤枝雅之
男爵　金子有卿　男爵　北大路實信　男爵　尚順
男爵　中島久萬吉　男爵　島津忠欽　三宅秀
金井之恭　湯地定基　千坂高雅
山川健次郎　磯邊包義　兒玉淳一郎

伊澤修二
伊藤長次郎

村井彌兵衛　桑田熊藏

第八部

嘉仁親王殿下

邦彥王殿下　公爵　德川慶喜
公爵　二條基弘　公爵　毛利元昭　侯爵　山縣有朋
伯爵　正親町實正　男爵　原田一道　子爵　鍋島直彬
子爵　由利公正　子爵　藤井行德　子爵　鍋島直虎
子爵　牧野貞寧　子爵　鳥居忠文　子爵　舟橋遂賢
子爵　酒井忠亮　子爵　伊集院彥知　男爵　岡内重俊
男爵　園田安賢　男爵　有地品之允　男爵　平田東助
黒岡帶刀　男爵　寺島秋介　古澤滋
男爵　若王子文健　原保太郎　藤田四郎
武井守正　江木千之　堀基
古莊嘉門　矢野次郎　堀眞五郎

吉野周太郎　長尾四郎右衛門　若尾幾造

佐藤伊左衛門　内藤宇兵衛　鎌田勝太郎

第九部

公爵　岩倉具定　公爵　鷹司熙通　侯爵　徳川茂承

侯爵　蜂須賀茂韶　侯爵　花山院親家　侯爵　西郷従徳

伯爵　大村純雄　子爵　井上勝　子爵　錦織敦久

子爵　山口弘達　子爵　板倉勝達　子爵　毛利元忠

子爵　梅小路定行　子爵　松平直平　男爵　野村素介

男爵　相浦紀道　小牧昌業　田中芳男

松尾臣善　男爵　高木兼寛　男爵　木梨精一郎

徳久恒範　男爵　川口武定　男爵　辻健介

男爵　青山元　男爵　藤大路親春　谷森眞男

都筑馨六　馬屋原二郎　柴田家門

穂積八束　高橋新吉　田島竹之助

清瀬善三　中田清兵衛　松村脩平

山口玄洞　辰巳楢太郎　鳥越貞敏

議長ハ貴族院規則第七條及第九條條ニ依リ各部ニ於テ部長理事ヲ互選スヘキ旨ヲ宣告ス議員乃チ各部ニ退ク

各部ハ貴族院規則第七條ニ依リ各部ニ於テ部長理事ヲ互選スヘキ旨ヲ宣告ス議員乃チ各部ニ退ク

各部ニ於テ定メタル管理者ハ左ノ如シ

第一部　重野安繹　第二部　子爵　渡邊昇

第三部　兒玉利國　第四部　三浦安

第五部　子爵　伊東祐麿　第六部　男爵　本田親雄

第七部　金井之恭　第八部　子爵　由利公正

第九部　清瀬善三

各部ニ於ケル部長及理事ノ當選人左ノ如シ

第一部

部長　子爵　芳川顯正　理事　子爵　堀田正養

第二部
部長　子爵　曾我祐準
第三部
部長　子爵　岡部長職
第四部
部長　子爵　谷　干城
第五部
部長　伯爵　松浦　詮
第六部
部長　男爵　小澤武雄
第七部
部長　侯爵　細川護成
第八部
部長　公爵　二條基弘

理事　伯爵　清棲家教
理事　男爵　石黒忠悳
理事　松岡康毅
理事　子爵　三島彌太郎
理事　子爵　堤　功長
理事　子爵　加納久宜
理事　伯爵　正親町實正

第九部
部長　伯爵　大村純雄

理事　男爵　川口武定

部長及理事確定シタルヲ以テ議長ハ之ヲ議院ニ報告シ散會ヲ命ス時ニ午前十時四十四分ナリ

即日議長ハ貴族院成立ノ旨ヲ政府及衆議院ニ通知セリ

此ノ日集會シタル議員ハ二百七十一人ナリ

附記

新議員ニ付部屬確定後ニ於テ定マリタル部屬左ノ如シ

第八部　侯爵　伊達宗陳（明治三十八年十二月二十九日部屬決定）
第一部　波多野敬直（明治三十九年一月二十五日同）
第二部　田　健治郎（同　上）
第三部　關　清英（同　上）
第四部　得能通昌（同　上）
第七部　木場貞長（同　上）

第九部　公爵　九條道實（同　上）
第一部　　高平小五郎（同年一月二十七日同上）
第二部　子爵　松平親信（同年二月十三日同上）
第五部　子爵　松平容大（同年三月二十五日同上）

明治三十九年二月十三日第四部理事松岡康毅理事ノ辭任ヲ許可セラレ
即日第四部ニ於テ其ノ補闕選擧ヲ行ヒ男爵沖守固當選セリ

○第二章　開會式及閉會式

○第一節　開會式

明治三十八年十二月二十八日兩院議員ヲ貴族院ニ會合セシメ
天皇陛下親臨シテ開會ノ式ヲ擧ケ給フ
是ヨリ先キ十二月二十七日左ノ帝國議會開會ノ　詔ヲ發セラル
朕帝國憲法第七條及議院法第五條ニ依リ十二月二十八日ヲ以テ帝國議會ノ
開會ヲ命ス

午前十時兩院議長、副議長及議員各議院ニ參集ス
午前十時三十六分　皇太子殿下ハ東宮大夫、東宮侍從長、東宮武官長其ノ他ノ供
奉員ヲ率ヰテ貴族院ニ臨マセラル
午前十時三十分　車駕宮城ヲ發シ王、侍從長、宮內大臣、侍從武官長、宮內次官、式部
長、式部次長、侍從、侍醫其ノ他ノ供奉員ヲ率ヰ午前十時五十分貴族院ニ　臨御ア
ラセラル衆議院議長、兩院副議長、書記官長及書記官ハ貴族院正門內ニ奉迎シ貴
族院議長ハ玄關ニ奉迎シテ直ニ便殿ニ奉導ス
陛下便殿ニ　著御アラセラルヽヤ兩院議員ハ各〻其ノ議長ノ指揮ニ從ヒ式場ニ
整列ス
同時親王、內閣總理大臣、各大臣、樞密院議長、樞密顧問官等參列ノ諸員竝兩院書記
官長及書記官著席ス
是ニ於テ式部長　出御ヲ奏請ス
陛下式部長ノ奉導ヲ以テ東宮竝王以下供奉員ヲ從ヘ式場ニ　出御アラセラル
供奉員一同列ニ著ク

陛下玉座ニ　著御アラセラルヽヤ各員最敬禮ヲ行フ內閣總理大臣伯爵桂太郎進テ　勅語書ヲ奉進ス

陛下親シク左ノ　勅語ヲ賜フ

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕ハ文武臣僚及各員ノ翼贊ト民庶ノ忠誠ニ依リ光榮ヲ以テ干戈ヲ戢メ已ニ露國ト善鄰ノ誼ヲ復シタリ而テ英國トノ協約曩ニ改締ヲ經締盟各國トノ交際益〻親厚ヲ加フルハ朕深ク之ヲ欣フ

帝國ト韓國ノ關係ハ數次ノ協約ニ依リ愈〻密接ヲ加フ今後益〻友好ノ誼ヲ厚フシ以テ指導啓發ノ道ヲ完フセムコトヲ勗メサルヘカラス

朕ハ國務大臣ニ命シ明治三十九年度豫算案及法律案ヲ議會ノ議ニ付セシム卿等克ク國家ノ進運ニ鑑ミ大成ヲ前途ニ期シテ和衷協贊ノ任ヲ竭シ以テ朕カ望ム所ニ副ヘヨ

滿場肅然各員拜聽シテ最敬禮ヲ行フ貴族院議長公爵德川家達　御前ニ進ミ勅語書ヲ拜受シテ列ニ復ス是ニ於テ

陛下式部長ノ奉導ヲ以テ東宮竝親王王以下供奉員ヲ從ヘ便殿ニ　入御アラセラレ午前十一時三十分衆議院正門ヲ出テ還御アラセラル兩院議長副議長書記官長及書記官衆議院正門內ニ奉送ス

當日式場ニ於ケル參列員及供奉員左ノ如シ

參列員

嘉仁親王殿下、威仁親王殿下、載仁親王殿下、依仁親王殿下、內閣總理大臣伯爵桂太郎、海軍大臣男爵山本權兵衛、農商務大臣男爵曾禰荒助、陸軍大臣寺內正毅、司法大臣波多野敬直、遞信大臣大浦兼武、樞密院議長伯爵東久世通禧、樞密顧問官子爵海江田信義、同男爵大鳥圭介、同男爵九鬼隆一、同男爵高崎正風、同子爵杉孫七郎、同侯爵蜂須賀茂韶、同子爵野村靖、同子爵林友幸、同子爵黑田清綱

供奉參列員

邦彥王殿下、恆久王殿下、侍從長侯爵德大寺實則、宮內大臣子爵田中光顯、侍從武官長男爵岡澤精、宮內次官男爵花房義質、式部長伯爵戶田氏共、式部次長伊藤勇吉、侍從男爵米田虎雄、侍醫岩佐純、東宮大夫侯爵中山孝麿、東宮侍從長侯爵木戶

孝正、東宮武官長村木雅美

十二月二十九日議長公爵徳川家達ハ議院ノ委託ニ依リ　勅語奉答書ヲ起草シテ之ヲ議院ニ諮ヒ議決ノ後同日午前十時三十分之ヲ携ヘテ參內ス

此日議長ハ大禮服ヲ着用シ坂下門ヲ入リ東車寄ヨリ昇殿ス午前十一時鳳凰ノ間ニ於テ謁ヲ賜フ議長　御前ニ進ミ左ノ奉答書ヲ上奏ス

貴族院議長臣徳川家達誠恐誠惶謹テ

叡聖文武天皇陛下ニ上奏ス爰ニ

車駕親臨シテ第二十二回帝國議會ヲ開キ優渥ナル

聖勅ヲ賜フ恭ク惟ルニ

陛下既ニ全局ノ大捷ヲ以テ平和ヲ克復シ無前ノ光榮ヲ以テ干戈ヲ戢メ露國ト善隣ノ誼ヲ復セラレ英國ノ協約又改締ヲ經テ益平和ノ保障ヲ鞏固ニシ其ノ他締盟各國トノ交際愈親厚ヲ增シ特ニ韓國トノ關係ハ數次ノ協約ニ依リ益密接ヲ加フ洵ニ是レ

陛下ノ威徳聖謨宏遠ノ致ス所ニアラサルハナシ今ヤ時局ノ要務ニ關シ深厚

ナル

聖旨ヲ示シタマフ臣等謹テ國家ノ進運ニ鑑ミ敢テ協賛ノ誠ヲ效サムコトヲ期ス臣家達恐懼ノ至ニ堪ヘス謹テ奉答ス

陛下左ノ　勅語ヲ賜フ

朕貴族院ノ深厚ナル敬禮ヲ嘉ス

同日午前十一時二十四分議長ハ議場ニ於テ奉答書上奏ノ始末ヲ報告シ且賜フ所ノ　勅語ヲ奉讀ス議員一同起立シテ最敬禮ヲ行フ

附記

開院式日諸次第及式場圖ハ前回ニ同シキヲ以テ之ヲ略ス

○第二節　閉會式

明治三十九年三月二十七日內閣總理大臣ヨリ左ノ通牒ヲ受領セリ

本月二十八日貴族院ニ於テ帝國議會閉會式執行被　仰出候此段及通牒候也

三月二十八日午前十時兩院議長、副議長及議員各議院ニ參集ス

午前十一時十一分兩院議員ハ各其ノ議長ノ指揮ニ從ヒ式場ニ整列ス

同時各大臣以下參列ノ諸員竝兩院書記官長書記官式場ニ著席ス

午前十一時十六分內閣總理大臣侯爵西園寺公望式場ニ進ミ左ノ辭ヲ述ヘ　勅語ヲ奉讀ス

本大臣ハ本日　聖旨ヲ奉シ閉會式　勅語ヲ奉讀スルノ榮ヲ辱ウス

勅語ニ曰ク

朕貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕本日ヲ以テ帝國議會ノ閉會ヲ命シ併セテ卿等勵精ノ勞ヲ嘉奬ス

各議員拜聽シテ最敬禮ヲ行フ貴族院議長公爵德川家達進テ　勅語書ヲ拜受シテ列ニ復ス是ニ於テ式畢ル時ニ午前十一時十七分ナリ

附記

閉會式日次第、式場圖及參列員氏名ハ之ヲ略ス

○第三章　慶頌、哀弔、謝辭等

○第一節　慶頌

明治三十八年五月三十日議長ハ議院ヲ代表シテ參內シ侍從長ヲ經テ日本海海戰ニ於ケル戰捷ニ付祝辭ヲ言上セリ

同年十月十七日議長ハ議院ヲ代表シテ參內シテ宮內大臣ヲ經テ平和克復ニ付祝辭ヲ言上セリ

同年十二月二十九日議院ハ平和克復ニ關スル上奏書ヲ奉呈スルコトヲ議決シ即日議長ハ該上奏書ヲ携ヘテ參內シ宮內大臣ヲ經テ之ヲ奉呈セリ

附記

上奏文ハ第五章第五節上奏案ノ部ニ揭記セルヲ以テ之ヲ略ス

○第二節　哀弔

明治三十八年四月十六日議員小幡篤次郎死去ニ依リ同月十九日左ノ弔辭ヲ贈レリ

貴族院ハ議員小幡篤次郎君ノ長逝ヲ追悼シ恭ク弔辭ヲ呈ス（弔辭文ハ其ノ例同シキヲ以テ下之ヲ略ス）

同年五月七日議員錦鷄間祗候從三位勳二等折田平內薨去ニ依リ同月九日弔辭

ヲ贈レリ

同年六月二日議員錦鶏間祇候陸軍少將從二位勳一等津田出薨去ニ依リ同月五日弔辭ヲ贈レリ

同年七月十二日議員錦鶏間祇候從三位勳二等巖谷修薨去ニ依リ同月十四日弔辭ヲ贈レリ

同年九月一日議員錦鶏間祇候正三位勳二等時任爲基薨去ニ依リ同月四日弔辭ヲ贈レリ

同年十月五日議員錦鶏間祇候從二位勳二等男爵中島錫胤薨去ニ依リ同月六日弔辭ヲ贈レリ

同年十月八日議員從二位侯爵菊亭修季薨去ニ依リ同月十一日弔辭ヲ贈レリ

同年十一月十四日議員從三位兒玉少介薨去ニ依リ同月十六日弔辭ヲ贈レリ

同年十一月二十九日議員正二位侯爵伊達宗德、議員錦鶏間祇候正三位勳二等柴原和薨去ニ依リ十二月二日各弔辭ヲ贈レリ

同年十二月七日議員從三位子爵水野忠弘薨去ニ依リ同月十日弔辭ヲ贈レリ

明治三十九年一月四日議員錦鶏間祇候從二位勳二等男爵岩村高俊薨去ニ依リ同月六日弔辭ヲ贈レリ

同年一月四日議員靡香間祇候從一位大勳位公爵九條道孝薨去ニ依リ同月八日弔辭ヲ贈レリ

同年一月十三日議員錦鶏間祇候陸軍生計監從三位勳二等男爵川崎祐名薨去ニ依リ同月十五日弔辭ヲ贈レリ

同年一月十四日議員從三位子爵京極高典薨去ニ依リ同月十七日弔辭ヲ贈レリ

同年二月二十六日議員錦鶏間祇候海軍中將正二位勳一等子爵伊東祐麿薨去ニ依リ三月一日弔辭ヲ贈レリ

同年三月十六日議員從四位勳四等三崎龜之助卒去ニ依リ同月十八日弔辭ヲ贈レリ

同年三月二十二日議員江角柳四郎死去ニ依リ同月二十五日弔辭ヲ贈レリ

又明治三十八年四月十四日議長ハ議院ヲ代表シテ奉天附近ノ會戰ニ於テ負傷後戰死シタル陸軍中將正四位勳二等功三級前田隆禮ニ對シ弔意ヲ表スル爲陸

軍大臣ヲ經テ左ノ弔辭ヲ贈レリ

貴族院ハ武功顯著ナル陸軍中將正四位勳二等功三級前田隆禮君ノ戰死ヲ追悼シ茲ニ弔意ヲ表ス

○第三節　謝辭等

明治三十八年三月十四日議長ハ議院ヲ代表シテ奉天附近ノ會戰ニ於ケル戰捷ニ付陸軍大臣ヲ經テ左ノ感謝狀ヲ滿洲軍總司令官ニ贈レリ

忠勇義烈ナル我滿洲軍ハ沙河會戰以來敵ト保壘相對シ大軍相持スルコト五閱月一旦戰機ノ熟スルヤ風發電擊籌策神ノ如ク全ク包圍攻擊ノ目的ヲ達シ敵ノ堅固ナル防備ヲ摧キ奉天撫順ヲ占領シ遂ニ彼ノ全軍ヲシテ潰亂奔竄幾ント其ノ兵力ノ半ヲ亡失セシメ以テ帝國上下ノ信頼ヲ全クセラレタルハ誠ニ是レ光輝アル曠古ノ偉功ナリ

皇威此ニ因テ益〻崇ク國光此ニ因テ愈〻揚ル貴族院ハ茲ニ光榮アル將校士卒ノ功勞ニ對シ深ク感謝ノ意ヲ表シ併テ壯烈ナル名譽ノ死傷者ニ對シ厚キ同情ノ悃誠ヲ致ス

附記

同年三月十六日陸軍大臣ヨリ大山滿洲軍總司令官ノ本院感謝狀ニ對スル左ノ答辭ヲ受領セリ

奉天附近ノ戰捷ニ對シ鄭重ナル祝詞ヲ辱フシ且ツ戰死者ニ對シ誠實ナル同情ヲ表セラレ感謝ノ至リニ堪ヘス

明治三十八年三月十六日午前十一時三十分

滿洲軍總司令官　侯爵　大山巖

同年六月一日議長ハ議院ヲ代表シテ日本海海戰ニ於ケル戰捷ニ付海軍大臣ヲ經テ左ノ感謝狀ヲ帝國聯合艦隊司令長官ニ贈レリ

敵艦隊ノ精鋭ヲ盡シ來リ犯スヤ我帝國聯合艦隊ハ之ヲ朝鮮海峽ニ邀擊シ之ニ當ルニ百戰ノ經驗ト猛烈ナル意氣ヲ以テシ勇戰奮鬪其ノ全艦隊ヲ殲シ帝國上下ノ信頼ヲ完シ帝國ノ光輝ヲ益〻宇内ニ宣揚スルニ至リタルハ洵ニ空前曠古ノ偉勳ナリ貴族院ハ茲ニ將校士卒ノ絕大ナル功績ニ對シ深ク感謝ノ誠意ヲ表ス

附記

同年六月三日海軍大臣ヨリ東郷聯合艦隊司令長官ノ本院感謝狀ニ對スル左ノ答辭ヲ受領セリ

天佑ニ因レル今回ノ戰捷ニ對シ貴院ヨリ懇篤ナル頌詞ヲ辱フシ感佩措ク能ハス若シ之ヲ以テ帝國上下ノ信賴ニ對フルヲ得ハ當隊將卒ノ歡喜何物カ之ニ過クルモノアランヤ茲ニ部下一同ニ代リ謹テ謝辭ヲ呈ス

明治三十八年六月二日

聯合艦隊司令長官　東郷平八郎

同年十二月二十九日議院ハ平和克復ニ付陸海軍ニ對シ左ノ感謝狀ヲ贈ルコトヲ議決シ即日議長ハ之ヲ陸軍大臣並海軍大臣ニ送付セリ

陸軍ニ對スル感謝狀

日露ノ戰役ハ東亞安危ノ係ル所皇國興廢ノ關スル所ナリ我陸軍ハ大命ヲ奉シ出テヽ強大ノ敵ニ當リ先ツ其ノ先鋒ヲ鴨綠江畔ニ破リ進戰數十回常ニ優

勢ノ軍ニ對シ向フ所勝タサルコトナク之ヲ旅順ニ摧キ之ヲ朔北ニ攘ヒ有史以來未タ曾テ聞カサルノ大捷ヲ奏シ其ノ大勳偉功ハ中外ノ共ニ讃歎スル所ニシテ永ク汗青ニ垂レテ千古ニ照耀スヘシ今ヤ平和克復シ空前ノ光榮ヲ荷フテ凱旋セラル貴族院ハ爰ニ我陸軍ニ對シ深ク感謝ノ意ヲ表ス

海軍ニ對スル感謝狀

日露ノ戰役ハ東亞安危ノ係ル所皇國興廢ノ關スル所ナリ我海軍ハ大命ヲ奉シ先ツ敵艦ヲ仁川ニ旅順ニ攻撃シテ其ノ機先ヲ制シ彼ノ東洋艦隊ヲ旅順ニ封シ遂ニ之ヲシテ全滅ニ至ラシメ更ニ彼カ精銳ヲ盡シテ東航シタル艦隊ヲ日本海ニ邀撃シテ之ヲ殲滅シ有史以來未タ曾テ聞カサルノ大捷ヲ奏シ其ノ大勳偉功ハ中外ノ共ニ讃歎スル所ニシテ永ク汗青ニ垂レテ千古ニ照耀スヘシ今ヤ平和克復シ空前ノ光榮ヲ荷フテ凱旋セラル貴族院ハ爰ニ我海軍ニ對シ深ク感謝ノ意ヲ表ス

附記

明治三十九年一月四日陸軍大臣並海軍大臣ヨリ本院ノ感謝狀ニ對シ左

ノ答辭ヲ受領セリ

今回ノ大戰役ニ當リ强敵ヲ挫折シ交戰ノ目的ヲ遂行スルコトヲ得ルハ一ニ

陛下ノ　御稜威ニ賴ルノ外擧國一致ノ實効ニ基カスンハアラス然ルニ今再ヒ貴院ノ議決ニ係ル感謝ノ誠意ヲ忝フシ感佩ニ堪ヘス茲ニ陸軍一般ヲ代表シ深厚ノ誠意ヲ表ス

明治三十九年一月四日

陸軍大臣　寺内正毅

日露戰役ニ關シ我海軍カ効シタル行動ニ對シ鄭重ナル頌辭ヲ辱シ感激ノ至ニ堪ヘス茲ニ海軍ヲ代表シ御挨拶申進度如此御座候敬具

明治三十九年一月四日

海軍大臣　男爵山本權兵衛

同年十一月二十二日議長ハ議院ヲ代表シテ聯合艦隊司令長官ノ凱旋歸京ヲ新橋停車場ニ出迎ヘタリ

同年十二月七日議長ハ議院ヲ代表シテ滿洲軍總司令官ノ凱旋歸京ヲ新橋停車場ニ出迎ヘタリ

○第四章　議員、委員、國務大臣及政府委員

○第一節　議員席次

明治三十九年三月二十七日現在議員ノ席次左ノ如シ

一　嘉仁親王殿下
二　貞愛親王殿下
三　威仁親王殿下
四　載仁親王殿下
五　依仁親王殿下
六　邦芳王殿下
七　博恭王殿下
八　菊麿王殿下
九　邦憲王殿下
十　邦彥王殿下
十一　守正王殿下
十二　多嘉王殿下
十三　恒久王殿下
十四　公爵德川慶喜
十五　公爵岩倉具定
十六　公爵鷹司熙通

十七　公爵　二條基弘
十九　公爵　島津忠濟
二十一　公爵　毛利元昭
二十三　公爵　三條公美
二十五　侯爵　德大寺實則
二十七　侯爵　德川茂承
二十九　侯爵　山縣有朋
三十一　侯爵　大山巖
三十三　侯爵　西園寺公望
三十五　侯爵　嵯峨公勝
三十七　侯爵　德川義禮
三十九　侯爵　黑田長成
四十一　侯爵　佐竹義生
四十三　侯爵　細川護成

十八　公爵　德川家達
二十　公爵　一條實輝
二十二　公爵　九條道實
二十四　侯爵　淺野長勳
二十六　侯爵　久我通久
二十八　侯爵　蜂須賀茂韶
三十　侯爵　伊藤博文
三十二　侯爵　鍋島直大
三十四　侯爵　中山孝麿
三十六　侯爵　大久保利和
三十八　侯爵　木戶孝正
四十　侯爵　松平康莊
四十二　侯爵　尙典
四十四　侯爵　池田詮政

四十五　侯爵　伊達宗陳
四十七　侯爵　山內豐景
四十九　侯爵　花山院親家
五十一　侯爵　四條隆愛
五十三　子爵　芳川顯正
五十五　伯爵　松浦詮
五十七　伯爵　大原重朝
五十九　伯爵　坊城俊章
六十一　伯爵　清棲家教
六十三　伯爵　德川達孝
六十五　伯爵　宗重望
六十七　伯爵　松木宗隆
六十九　伯爵　柳澤保惠
七十一　伯爵　柳原義光

四十六　侯爵　大炊御門幾麿
四十八　侯爵　池田仲博
五十　侯爵　西鄉從德
五十二　侯爵　西鄉寅太郎
五十四　男爵　岩村通俊
五十六　伯爵　正親町實正
五十八　伯爵　萬里小路通房
六十　伯爵　島津忠亮
六十二　伯爵　大村純雄
六十四　伯爵　松平直亮
六十六　伯爵　吉井幸藏
六十八　伯爵　室町公大
七十　伯爵　廣澤金次郎
七十二　子爵　谷干城

七十三　男爵　鄉　純造
七十五　子爵　井上　勝
七十七　男爵　曾禰荒助
七十九　男爵　原田一道
八十一　子爵　長岡護美
八十三　子爵　曾我祐準
八十五　子爵　伏原宣足
八十七　子爵　由利公正
八十九　子爵　錦織敎久
九十一　子爵　山本實庸
九十三　子爵　仙石政固
九十五　子爵　竹內惟忠
九十七　子爵　野宮定穀
九十九　子爵　大宮以季

七十四　子爵　渡邊　昇
七十六　男爵　清浦奎吾
七十八　男爵　楫取素彥
八十　男爵　本田親雄
八十二　子爵　鍋島直彬
八十四　子爵　平松時厚
八十六　子爵　堤　功長
八十八　子爵　裏松良光
九十　子爵　加納久宜
九十二　子爵　岡部長職
九十四　子爵　藤井行德
九十六　子爵　唐橋在正
九十八　子爵　一柳末德
百　子爵　堀田正養

百一　子爵　井伊直安
百三　子爵　松平乘承
百五　子爵　山口弘達
百七　子爵　大田原一清
百九　子爵　高木正善
百十一　子爵　山內豐誠
百十三　子爵　鍋島直柔
百十五　子爵　京極高德
百十七　子爵　松平康民
百十九　子爵　久留島通簡
百二十一　子爵　本多忠敬
百二十三　子爵　毛利元忠
百二十五　子爵　梅小路定行
百二十七　子爵　三島彌太郎

百二　子爵　內田正學
百四　子爵　青山幸宜
百六　子爵　大久保忠順
百八　子爵　鍋島直虎
百十　子爵　板倉勝達
百十二　子爵　牧野貞寧
百十四　子爵　鳥居忠文
百十六　子爵　本莊壽巨
百十八　子爵　新莊直陳
百二十　子爵　黑田和志
百二十二　子爵　舟橋遂賢
百二十四　子爵　樋口誠康
百二十六　子爵　稻垣太祥
百二十八　子爵　入江爲守

百二十九　子爵　松平容大
百三十　子爵　松平直平
百三十一　子爵　松平直徳
百三十二　子爵　青木信光
百三十三　子爵　高野宗順
百三十四　子爵　有馬頼之
百三十五　子爵　牧野忠篤
百三十六　子爵　酒井忠亮
百三十七　子爵　永井尚敏
百三十八　子爵　伊集院彗知
百三十九　子爵　堀河護麿
百四十　子爵　松平直敬
百四十一　子爵　松平忠禎
百四十二　子爵　前田利定
百四十三　子爵　松平親信
百四十四　子爵　水野直
百四十五　辻新次
百四十六　男爵　加藤弘之
百四十七　男爵　尾崎三良
百四十八　男爵　野村素介
百四十九　宮本小一
百五十　男爵　岡内重俊
百五十一　男爵　小畑美稻
百五十二　三好退藏
百五十三　松岡康毅
百五十四　男爵　松平正直
百五十五　男爵　北垣國道
百五十六　濱尾新
百五十七　男爵　伊藤博文
百五十八　男爵　赤松則良
百五十九　三浦安
百六十　男爵　相浦紀道
百六十一　男爵　千家尊福
百六十二　男爵　前島密
百六十三　男爵　小澤武雄
百六十四　男爵　鍋島幹
百六十五　男爵　渡邊千秋
百六十六　淺田徳則
百六十七　男爵　船越衛
百六十八　男爵　調所廣丈
百六十九　兒島惟謙
百七十　名村泰藏
百七十一　長谷部辰連
百七十二　前田正名
百七十三　男爵　園田安賢
百七十四　周布公平
百七十五　小牧昌業
百七十六　田中芳男
百七十七　村田保
百七十八　男爵　鈴木大亮
百七十九　平山成信
百八十　松尾臣善
百八十一　男爵　有地品之允
百八十二　男爵　茨木惟昭
百八十三　男爵　伊達宗敦
百八十四　男爵　高木兼寛

百八十五　男爵　平田東助
百八十六　小松原英太郎
百八十七　高平小五郎　男爵　菊池大麓
百八十八　男爵　野田通豁　百九十　服部一三
百八十九　男爵　四條隆平　百九十二　男爵　石黒忠悳
百九十一　山脇玄　百九十四　田邊輝實
百九十三　男爵　千田貞暁　百九十六　大浦兼武
百九十五　黒岡帶刀　百九十八　關義臣
百九十七　男爵　木梨精一郎　二百　男爵　寺島秋介
百九十九　男爵　松本順　二百二　古澤滋
二百一　德久恒範　二百四　久保田讓
二百三　波多野敬直　二百六　男爵　藤村紫朗
二百五　男爵　村田經芳　二百八　男爵　實吉安純
二百七　山川健次郎　二百十　男爵　佐野延勝
二百九　男爵　西五辻文仲　二百十二　男爵　沖守固
二百十一

二百十三　男爵　中川與長
二百十四　男爵　藤枝雅之
二百十五　男爵　小野尊光　二百十六　男爵　金子有卿
二百十七　男爵　安藤直行　二百十八　男爵　玉松眞幸
二百十九　男爵　本多副元　二百二十　男爵　川口武定
二百二十一　男爵　島津珍彦　二百二十二　男爵　杉溪言長
二百二十三　男爵　南光利　二百二十四　男爵　新田忠純
二百二十五　男爵　南岩倉具威　二百二十六　男爵　平野長祥
二百二十七　男爵　高崎安彦　二百二十八　男爵　辻健介
二百二十九　男爵　紀俊秀　二百三十　男爵　山內豐政
二百三十一　男爵　吉川重吉　二百三十二　男爵　小早川四郎
二百三十三　男爵　青山元　二百三十四　男爵　毛利五郎
二百三十五　男爵　河邊博長　二百三十六　男爵　藤大路親春
二百三十七　男爵　若王子文健　二百三十八　男爵　德川厚
二百三十九　男爵　千秋季隆　二百四十　男爵　北大路實信

二百四十一 男爵 眞田幸世
二百四十三 男爵 安場末喜
二百四十五 男爵 島津忠欽
二百四十七 男爵 諫早家崇
二百四十九 男爵 淺野守夫
二百五十一 男爵 清水資治
二百五十三 石井省一郎
二百五十五 谷森眞男
二百五十七 何禮之
二百五十九 渡正元
二百六十一 中島永元
二百六十三 湯地定基
二百六十五 松本鼎
二百六十七 千坂高雅

二百四十二 男爵 尙順
二百四十四 男爵 中島久万吉
二百四十六 男爵 長松篤棐
二百四十八 男爵 小原適
二百五十 男爵 本多政以
二百五十二 男爵 二條正麿
二百五十四 西村亮吉
二百五十六 三宅秀
二百五十八 安藤則命
二百六十 金井之恭
二百六十二 重野安繹
二百六十四 南郷茂光
二百六十六 富田鐵之助
二百六十八 森山茂

二百六十九 馬屋原彰
二百七十一 古市公威
二百七十三 田健治郎
二百七十五 武井守正
二百七十七 鮫島武之助
二百七十九 大澤謙二
二百八十一 木下廣次
二百八十三 後藤新平
二百八十五 岡田良平
二百八十七 目賀田種太郎
二百八十九 柴田家門
二百九十一 關清英
二百九十三 堀基
二百九十五 高木豐三

二百七十 原保太郎
二百七十二 山田爲暄
二百七十四 藤田四郎
二百七十六 都筑馨六
二百七十八 奥山政敬
二百八十 富井政章
二百八十二 高崎親章
二百八十四 江木千之
二百八十六 野崎啓造
二百八十八 中村雄次郎
二百九十 一木喜德郎
二百九十二 菊池武夫
二百九十四 木場貞長
二百九十六 馬屋原二郎

二百九十七　山本達雄
二百九十九　兒玉利國
三百一　宝田義文
三百三　古莊嘉門
三百五　得能通昌
三百七　河島醇
三百九　高橋新吉
三百十一　宮島誠一郎
三百十三　岩村彙善
三百十五　矢野次郎
三百十七　野崎武吉郎
三百十九　加藤正恵
三百二十一　佐々木嘉太郎
三百二十三　細谷巖太郎

二百九十八　磯邊包義
三百　安廣伴一郎
三百二　安樂彙道
三百四　下條正雄
三百六　穗積八束
三百八　高橋是清
三百十　兒玉淳一郎
三百十二　伊澤修二
三百十四　秋月新太郎
三百十六　堀眞五郎
三百十八　田島竹之助
三百二十　清瀬善三
三百二十二　村井彌兵衛
三百二十四　宮本谷藏

三百二十五　阿由葉吟次郎
三百二十七　橋本雄造
三百二十九　中田清兵衛
三百三十一　菊池長四郎
三百三十三　村岡淺右衛門
三百三十五　廣海二三郎
三百三十七　長尾四郎右衛門
三百三十九　若尾幾造
三百四十一　內藤宇兵衛
三百四十三　坂本理一郎
三百四十五　山口玄洞
三百四十七　澤原俊雄
三百四十九　並木和一
三百五十一　五藤正形

三百二十六　木村誓太郎
三百二十八　神野金之助
三百三十　吉野周太郎
三百三十二　谷井勘藏
三百三十四　松村脩平
三百三十六　永澤清之助
三百三十八　本間千代吉
三百四十　佐藤伊左衛門
三百四十二　五十嵐敬正
三百四十四　鎌田勝太郎
三百四十六　辰巳楢太郎
三百四十八　田代保之
三百五十　岩月直彥
三百五十二　鳥越貞敏

三百五十三　桑田熊藏
三百五十五　宮崎喜久太郎
三百五十七　森廣三郎
三百五十九　下村辰右衞門

○第二節　議員異動

○第一　死亡

明治三十八年四月十六日　三百五十四　道源權治
同年五月七日　三百五十六　日高榮三郎
同年六月二日　三百五十八　下鄉傳平
同年七月十二日　三百六十　伊藤長次郎
同年九月一日　小幡篤次郎
同年十月五日　折田平內
同年十月八日　津田出
同年十一月十四日　巖谷修
同年十一月十九日　時任爲基
同年十二月七日　男爵　中島錫胤
明治三十九年一月四日　侯爵　菊亭修季
同年一月四日　兒玉少介
同年一月十三日
同年一月十四日
同年二月二十六日
同年三月十六日
同年三月二十二日

○第二　辭職

明治三十八年五月十日　辭表呈出　柴原和
同五月十五日　辭職勅許　侯爵　伊達宗德
明治三十九年一月十七日　辭表呈出　子爵　水野忠弘
同年一月二十二日　辭職勅許　男爵　岩村高俊
同明治三十九年二月二十七日　辭表呈出　公爵　九條道孝
同年三月二十二日　辭職勅許　男爵　川崎祐名
子爵　京極高典
子爵　伊東祐麿
三崎龜之助
江角柳四郎
渡邊福三郎
男爵　金子堅太郎
子爵　山井彖文

明治三十九年三月十七日辭表呈出
同　年三月十九日辭職勅許

男爵　末松謙澄

○第三　補闕選舉

明治三十八年三月十一日當選

男爵　二條正麿

附記

明治三十八年一月四日議員男爵渡邊清薨去ニ依リ同月六日其ノ補闕選舉ヲ上奏セリ

明治三十八年三月二十五日當選

男爵　淺野守夫

附記

明治三十八年一月二十日議員男爵内海忠勝薨去ニ依リ同年一月二十三日其ノ補闕選舉ヲ上奏セリ

明治三十八年四月八日當選

子爵　野宮定穀

附記

明治三十八年一月三十日議員子爵立花種恭薨去ニ依リ同年二月一日其ノ補闕選舉ヲ上奏セリ

明治三十八年八月十七日勅任

若尾幾造

附記

明治三十八年五月十五日議員渡邊福三郎辭職勅許ニ依リ同年五月十七日補闕選舉ヲ上奏シ七月二十七日其ノ補闕選舉ニ當選セリ

明治三十八年十二月十五日當選

男爵　茨木惟昭

附記

明治三十八年十月五日議員男爵中島錫胤薨去ニ依リ同年十月六日其ノ補闕選舉ヲ上奏セリ

明治三十九年二月九日當選

子爵　松平親信

附記

明治三十八年十二月七日議員子爵水野忠弘薨去ニ依リ同年十二月十一日其ノ補闕選舉ヲ上奏セリ

明治三十九年三月二十四日當選

子爵　松平容大

附記

明治三十九年一月十四日議員子爵京極高典薨去ニ依リ同年一月十八日其ノ補闕選擧ヲ上奏セリ

○第四　新任

明治三十八年十二月十三日	同	從三位勳二等	田邊輝實
同	同	從三位勳三等	兒島惟謙
同	同	正四位勳一等醫學博士	男爵　實吉安純
同	同	正四位勳三等	野崎啓造
同	同	從四位勳三等	古莊嘉門
明治三十九年一月七日	同	從三位勳二等	波多野敬直
同	同	正四位勳三等	田健治郎
同	同	從四位勳三等	關清英
同	同	從四位勳三等	得能通昌
同年一月十七日	同	從四位勳三等法學博士	木場貞長
同年一月二十五日	同	從三位勳一等	高平小五郎

○第五　就職

明治三十八年六月七日	同	正五位侯爵	四條隆愛
同年十二月二十七日	同	從三位侯爵	伊達宗陳
明治三十九年一月二十三日	同	正四位公爵	九條道實

○第三節　全院委員長

明治三十八年十二月二十九日議院法第二十一條第一項及貴族院規則第十六條ニ依リ無名投票ヲ以テ全院委員長ノ選擧ヲ行ヒシニ其ノ結果左ノ如シ

百九十四票	子爵	谷　干城
一票	公爵	二條基弘
一票	侯爵	西園寺公望

乃チ最多數ヲ以テ子爵谷干城當選セリ

○第四節　常任委員

明治三十八年十二月二十九日貴族院規則第二章第三節ノ各條ニ依リ各部ニ於テ常任委員ノ選擧ヲ行ヒシニ其ノ當選人左ノ如シ

○資格審査委員

第一部　侯爵　松平康荘
第二部　菊池武夫
第三部　馬屋原彰
第四部　松岡康毅
第五部　野崎啓造
第六部　富井政章
第七部　三好退藏
第八部　子爵　鍋島直彬
第九部　小牧昌業

本委員ハ明治三十九年一月二十五日貴族院規則第三十五條ニ依リ正副委員長ヲ互選セシニ其ノ當選人左ノ如シ

委員長　侯爵　松平康荘
副委員長　三好退藏

○豫算委員

第一部
伯爵　吉井幸藏
子爵　堀田正養
淺田德則
男爵　平野長祥
第二部
子爵　永井尚敏

伯爵　萬里小路通房
子爵　曾我祐準
男爵　吉川重吉
南郷茂光
木村誓太郎
第三部
子爵　岡部長職
子爵　牧野忠篤
男爵　松平正直
男爵　菊池大麓
男爵　紀俊秀
第四部
子爵　谷干城
男爵　船越衛
男爵　野田豁通
富田鐵之助
岡田良平
第五部
子爵　三島彌太郎
男爵　西五辻文仲
中島永元
奥山政敬
廣海二三郎
第六部
子爵　堤功長
子爵　稻垣太祥
男爵　小澤武雄
平山成信
西村亮吉

第七部

子爵　内田正學　　子爵　青木信光　　小松原英太郎

磯邊包義　　桑田熊藏

第八部

伯爵　正親町實正　　子爵　鳥居忠文　　男爵　有地品之允

藤田四郎　　武井守正

第九部

子爵　山口弘達　　子爵　板倉勝達　　子爵　松平直平

男爵　青山元　　高橋新吉

本委員ハ明治三十九年二月七日貴族院規則第三十五條ニ依リ正副委員長ヲ互選セシニ其ノ當選人左ノ如シ

委員長　伯爵　正親町實正

副委員長　男爵　松平正直

又同日本委員ハ貴族院規則第四十五條ニ依リ委員ヲ五科ニ分テリ乃チ左ノ如シ

第一科（歳入歳藏省）

伯爵　正親町實正　　子爵　牧野忠篤　　男爵　西五辻文仲

男爵　吉川重吉　　西村亮吉　　中島永元

富田鐵之助　　高橋新吉　　桑田熊藏

兼務　子爵　三島彌太郎　　兼務　小松原英太郎　　兼務　男爵　紀俊秀

第二科（外務省司法省）

子爵　岡部長職　　子爵　山口弘達　　子爵　板倉勝達

子爵　青木信光　　子爵　永井尚敏　　男爵　松平正直

平山成信　　男爵　平野長祥　　奥山政敬

兼務　淺田德則　　兼務　男爵　西五辻文仲

第三科（内務省文部省）

伯爵　萬里小路通房　　子爵　谷干城　　子爵　堤功長

子爵　稻垣太祥　　男爵　船越衛　　小松原英太郎

男爵　菊池大麓　　男爵　紀　俊秀

兼務　男爵　松平正直　　木村誓太郎

第四科（陸軍省　海軍省）

伯爵　吉井幸藏　　子爵　堀田正養

子爵　内田正學　　男爵　有地品之允

男爵　野田豁通　　磯邊包義

兼務　男爵　小澤武雄　　兼務　中島永元

第五科（農商務省　遞信省）

子爵　鳥居忠文　　子爵　三島彌太郎　　男爵　小澤武雄

淺田德則　　男爵　青山元　　藤田四郎

武井守正　　岡田良平　　廣海二三郎

兼務　男爵　菊池大麓　　兼務　木村誓太郎　　兼務　桑田熊藏

二月十三日各科ニ於テ主査ヲ互選セリ其ノ當選人左ノ如シ

第一科　主査　伯爵　正親町實正

第二科　主査　子爵　岡部長職

第三科　主査　子爵　谷　干城

第四科　主査　子爵　曾我祐準

第五科　主査　子爵　鳥居忠文

○懲罰委員

第一部　子爵　京極高典　　第二部　子爵　松平康民

第三部　男爵　石黒忠悳　　第四部　子爵　新莊直陳

第五部　男爵　新田忠純　　第六部　宮島誠一郎

第七部　千坂高雅　　第八部　公爵　二條基弘

第九部　馬屋原二郎

本委員ハ明治三十九年二月五日貴族院規則第三十五條ニ依リ正副委員長ヲ互選セシニ其ノ當選人左ノ如シ

委員長　公爵　二條基弘

副委員長　男爵　石黒忠悳

附記

第一部選出懲罰委員子爵京極高典薨去ニ依リ明治三十九年一月二十五日同部ニ於テ補闕選擧ヲ行ヒシニ子爵芳川顯正當選セリ

○請願委員

第一部

伯爵　松木宗隆　子爵　松平忠禎　江角柳四郎

第二部

男爵　本多政以　本間千代吉　道源權治

第三部

子爵　大田原一清　男爵　實吉安純　男爵　眞田幸世

第四部

伯爵　宗重望　子爵　唐橋在正　子爵　松平乘承

第五部

子爵　高野宗順　子爵　有馬賴之　男爵　長松篤棐

第六部

子爵　本多忠敬　男爵　杉渓言長　下村辰右衛門

第七部

男爵　金子有卿　三宅秀　村井彌兵衛

第八部

子爵　伊集院兼知　男爵　若王子文健　長尾四郎右衛門

第九部

德久恒範　男爵　辻健介　辰巳楢太郎

本委員ハ明治三十九年一月二十五日貴族院規則第三十五條ニ依リ正副委員長ヲ互選セシニ其ノ當選人左ノ如シ

委員長　三宅秀

副委員長　子爵　唐橋在正

又同日本委員ハ貴族院規則第四十五條ニ依リ委員ヲ三科ニ分チ各科ニ於テ主査ヲ互選セリ乃チ左ノ如シ

法制科

主査　伯爵　松木宗隆　子爵　松平忠禎

男爵　實吉安純　男爵　眞田幸世　男爵　本多政以

江角柳四郎　本間千代吉　道源權治

租稅科

主査　伯爵　宗重望　子爵　唐橋在正　子爵　松平乘承
子爵　本多忠敬　子爵　高野宗順　子爵　有馬賴之
男爵　杉溪言長　男爵　長松篤棐　下村辰右衛門

雜科

主査　子爵　伊集院兼知　德久恒範　男爵　金子有卿
男爵　辻健介　男爵　若王子文健　三宅秀
村井彌兵衛　長尾四郎右衛門　辰巳楢太郎

附記

明治三十九年三月二十二日第一部選出請願委員江角柳四郎死去セシモ其ノ補闕選擧ヲ爲スニ至ラスシテ會期終了セリ

○決算委員

第一部

子爵　水野直　男爵　中川興長　森廣三郎

第二部

子爵　大宮以季　名村泰藏　田代保之

第三部

子爵　入江爲守　宮本谷藏　日高榮三郎

第四部

男爵　佐野延勝　男爵　千秋季隆　下鄉傳平

第五部

子爵　堀河護麿　安廣伴一郎　野崎武吉郎

第六部

男爵　小原適　橋本雄造　坂本理一郎

第七部

伯爵　柳原義光　子爵　黑田和志　伊藤長次郎

第八部

子爵　舟橋遂賢　子爵　酒井忠亮　鎌田勝太郎

第九部

男爵　相浦紀道

本委員ハ明治三十九年一月二十五日貴族院規則第三十五條ニ依リ正副委員長ヲ互選セシニ其ノ當選人左ノ如シ

委員長　名村泰藏　副委員長　伯爵　柳原義光

又同日本委員ハ貴族院規則第四十五條ニ依リ委員ヲ四科ニ分テリ乃チ左ノ如シ

第一科（大藏省）

伯爵　柳原義光　子爵　水野直　谷森眞男　鳥越貞敏

田代保之　日高榮三郎

第二科（外務省、内務省、司法省）

宮本谷藏

子爵　舟橋遂賢　子爵　入江爲守　子爵　酒井忠亮

子爵　堀河護麿　男爵　中川輿長　鎌田勝太郎

森廣三郎

第三科（陸軍省、海軍省）

男爵　相浦紀道　男爵　佐野延勝　男爵　小原適

安廣伴一郎　野崎武吉郎

鳥越貞敏　坂本理一郎

第四科（文部省、農商務省、遞信省）

子爵　大宮以季　子爵　黒田和志　名村泰藏

男爵　千秋季隆　橋本雄造　下郷傳平

伊藤長次郎

二月一日第一科及第四科ニ於テ又二月五日第二科及第三科ニ於テ各〻主査ヲ互選セリ其ノ當選人左ノ如シ

第一科　主査　伯爵　柳原義光　第二科　主査　子爵　入江爲守

第三科　主査　男爵　相浦紀道　第四科　主査　名村泰藏

○第五節　國務大臣及政府委員

本會期ニ於ケル國務大臣及政府委員左ノ如シ

○國務大臣

附記

明治三十八年七月三日外務大臣男爵小村壽太郎講和全權委員仰付ケラレタルニ依リ內閣總理大臣伯爵桂太郎外務大臣臨時兼任ヲ命セラレ明治三十九年一月二日其ノ兼任ヲ免セラレタリ又明治三十八年十二月十四日文部大臣久保田讓願ニ依リ本官ヲ免セラレ內閣總理大臣伯爵桂太

內閣總理大臣兼外務大臣	伯爵	桂　太郎
海軍大臣	男爵	山本權兵衛
農商務大臣兼內務大臣	男爵	清浦奎吾
大藏大臣	男爵	曾禰荒助
陸軍大臣		寺內正毅
司法大臣		波多野敬直
遞信大臣		大浦兼武
文部大臣		久保田讓

附記

郎文部大臣兼任ヲ命セラレタリ

明治三十九年一月七日內閣總理大臣兼文部大臣伯郎桂太郎、農商務大臣兼內務大臣男爵清浦奎吾ハ願ニ依リ本官並兼官ヲ免セラレ外務大臣男爵小村壽太郎、大藏大臣男爵曾禰荒助、海軍大臣男爵山本權兵衛、司法大臣波多野敬直、遞信大臣大浦兼武ハ孰モ願ニ依リ本官ヲ免セラレタリ

內閣總理大臣兼文部大臣	侯爵	西園寺公望
外務大臣		加藤高明
內務大臣		原　敬
大藏大臣法學博士		阪谷芳郎
海軍大臣		齋藤　實
司法大臣		松田正久
農商務大臣		松岡康毅
遞信大臣		山縣伊三郎

明治三十九年一月七日本文ノ如ク各本官ニ任セラレタリ

同年三月三日外務大臣加藤高明願ニ依リ本官ヲ免セラレ内閣總理大臣侯爵西園寺公望外務大臣臨時兼任ヲ命セラレタリ

○政府委員

政府委員

外務省所管事務政府委員

法制局長官法學博士　一木喜德郎

内務省所管事務政府委員

外務次官　珍田捨巳

外務省通商局長　石井菊次郎

外務省參事官　松井慶四郎

同　安達峯一郎

外務書記官　西村賤夫

外務省參事官　倉知鐵吉

大藏省所管事務政府委員

内務次官　山縣伊三郎

臺灣總督府民政長官　後藤新平

内務省地方局長　吉原三郎

内務省警保局長　仲小路廉

内務省土木局長　犬塚勝太郎

内務省衞生局長　窪田靜太郎

内務省神社局長法學博士　水野練太郎

内務書記官　大谷靖

臺灣總督府理財局長　祝辰巳

大藏次官法學博士　阪谷芳郎

煙草專賣局長　仁尾惟茂

大藏省理財局長　水町袈裟六

大藏省主稅局長　若槻禮次郎

陸軍所管事務政府委員

陸軍省經理局長陸軍主計總監　外松孫太郎
海軍省所管事務政府委員

陸軍省經理局主計課長陸軍一等主計正　湯本善太郎

陸軍次官　石本新六
大藏省主計局長　荒井賢太郎
煙草專賣局書記官　濱口雄幸
大藏書記官　永濱盛三
臨時國債整理局書記官　勝田主計
大藏書記官　菅原通敬
大藏書記官　長尾泰辰
大藏書記官　市來乙彥
大藏書記官　山崎四男六
大藏書記官　神野勝之助

司法省所管事務政府委員

海軍次官　齋藤實
海軍主計總監　村上敬次郎

司法次官　法學博士　石渡敏一
司法省民刑局長　法學博士　河村譲三郎
司法省監獄局長　久保田貫一
司法省參事官　平沼騏一郎
司法書記官　柏原與次郎

文部省所管事務政府委員

文部次官　法學博士　木場貞長
文部省實業學務局長　工學博士　眞野文二
文部省專門學務局長　福原鐐二郎
文部省視學官　野尻精一
文部書記官　松村茂助

農商務省所管事務政府委員

遞信省所管事務政府委員

農商務次官　和田彦次郎
製鐵所長官　中村雄次郎
農商務省水產局長　牧朴眞
農商務省山林局長　久米金彌
農商務省農務局長農學博士　酒匂常明
農商務省商工局長　森田茂吉
特許局長　織田一
農商務省鑛山局長　磯部正春
製鐵所書記官　大谷順作
農商務書記官　岡本英太郎

遞信次官　田健治郎
鐵道作業局長官工學博士　平井晴二郎

附記

明治三十八年十二月二十七日本文ノ如ク各政府委員仰付ケラレタリ
明治三十九年一月六日司法省監獄局長久保田貫一ハ願ニ依リ本官ヲ免セラレタリ
同年一月七日大藏次官法學博士阪谷芳郎ハ大藏大臣ニ、海軍次官齋藤實ハ海軍大臣ニ、內務次官山縣伊三郎ハ遞信大臣ニ任セラレ又司法次官石渡敏一ハ內閣書記官長ニ任セラレタリ
同年一月八日大藏省主稅局長若槻禮次郎ハ大藏次官ニ、司法省民刑局長法學博士河村譲三郎ハ司法次官ニ、司法省參事官平沼騏一郎ハ司法省民刑局長ニ、內務省警保局長仲小路廉ハ遞信次官ニ任セラレ又遞信次官田

遞信省鐵道局長　山之內一次
遞信省通信局長　小松謙次郎
遞信省管船局長　內田嘉吉
遞信省經理局長　關宗喜

健治郎ハ願ニ依リ本官ヲ免セラレタリ

同年一月十一日司法次官法學博士河村譲三郎ハ司法省監獄局長兼任ヲ命セラレタリ

同年一月十三日法制局長官法學博士一木喜德郎ハ願ニ依リ本官ヲ免セラレタリ

同年一月十七日内務省地方局長吉原三郎ハ内務次官ニ任セラレ文部次官法學博士木場貞長ハ願ニ依リ本官ヲ免セラレ文部省専門學務局長福原鐐二郎ハ文部次官心得ヲ命セラレタリ

政府委員

法制局長官法學博士　岡野敬次郎

外務省所管事務政府委員

外務省政務局長　山座圓次郎

内務省所管事務政府委員

内務省地方局長　床次竹二郎

大藏省所管事務政府委員

内務省警保局長　古賀廉造

海軍省所管事務政府委員

大藏省主税局長　櫻井鐵太郎

司法省所管事務政府委員

海軍次官　加藤友三郎

遞信省所管事務政府委員

司法省參事官　齋藤十一郎

附記

遞信次官　仲小路廉

明治三十九年一月十八日本文ノ如ク各〻政府委員仰付ケラレタリ

政府委員

農商技師　新山莊輔

内務省所管事務政府委員

遞信省所管事務政府委員

附記

農商務技師新山莊輔ハ明治三十九年一月二十五日、内務書記官井上友一ハ同年三月十日、鐵道作業局部長圖師民嘉ハ同年三月二十五日本文ノ如ク各、政府委員仰付ケラレタリ

○第五章　議事

○第一節　法律案

○第一　政府提出案

政府提出法律案ハ五十三件ニシテ其ノ可決シタルモノ四十六件、議決ニ至ラサリシモノ六件、撤回セラレシモノ一件トス

可決シタルモノ

一　日本興業銀行法中改正法律案(七十五頁)

一　臺灣銀行法中改正法律案(七十六頁)

一　明治三十五年法律第二十九號中改正法律案(七十八頁)

一　明治三十一年法律第三號廢止法律案(八十二頁)

一　臨時事件費支辨ニ關スル法律案(八十頁)

一　民法施行法中改正法律案(八十四頁)

一　國債整理基金特別會計法案(八十五頁)

一　非常特別稅法中改正法律案(八十七頁)

一　鐵道敷設法中改正法律案(九十頁)

一　産業試驗費講習費國庫補助法案(九十二頁)

一　軍艦水雷艇補充基金ノ組入ニ關スル法律案(九十三頁)

一　徵兵令中改正法律案(九十五頁)

一　輸出羽二重精練業法案(九十七頁)

一　産業組合法中改正法律案(九十九頁)

一　作業會計法中改正法律案（百一頁）
一　韓國ニ於ケル裁判事務ニ關スル法律案（百二頁）
一　貨幣法中改正法律案（百五頁）
一　陸海軍ニ屬スル臨時事件費特別會計終結ニ關スル法律案（百七頁）
一　國債證券ノ取引所稅廢止ニ關スル法律案（百九頁）
一　內國官憲ノ管掌ニ屬スル事項ニ付統監ノ職權ニ關スル法律案（百十頁）
一　臺灣總督府鐵道部現金前渡官吏設置ニ關スル法律案（百十二頁）
一　貯蓄銀行法案（百十四頁）
一　鹽專賣法中改正法律案（百十六頁）
一　癈兵院法案（百十八頁）
一　鐵道國有法案（百十九頁）
一　京釜鐵道買收法案（百二十頁）
一　醬油稅則中改正法律案（百二十四頁）
一　軍人恩給法中改正法律案（百二十六頁）

一　紙幣類似證券取締法案（百二十七頁）
一　工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戾稅法案（百二十九頁）
一　官國幣社經費ニ關スル法律案（百三十頁）
一　農工銀行補助法中改正法律案（百三十二頁）
一　明治三十八年法律第十七號中改正法律案（百三十四頁）
一　明治三十三年法律第七十五號中改正法律案（百三十五頁）
一　明治三十三年法律第七十六號中改正法律案（百三十八頁）
一　關稅定率法改正法律案（百三十八頁）
一　登錄稅法中改正法律案（百四十一頁）
一　臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案（百四十三頁）
一　國債ニ關スル法律案（百四十一頁）
一　帝國鐵道會計法律案（百四十五頁）
一　官設鐵道用品資金會計法中改正法律案（百四十五頁）
一　韓國ニ於テ帝國ノ經營スル鐵道ノ會計ニ關スル法律案（百四十五頁）

一　鐵道國有法及京釜鐵道買收法ニ依リ買收シタル鐵道ノ出納官吏ニ關スル法律案(百四十五頁)

一　海上衝突豫防法中改正法律案(百四十七頁)

一　地租條例ヲ北海道ニ施行スル件ニ關スル法律案(百四十九頁)

一　刑ノ執行ヲ猶豫セラレタル者ノ公民權及議員選擧權被選擧權ニ關スル法律案(百五十頁)

議決ニ至ラサリシモノ

一　郡制廢止法律案(百五十一頁)

一　市制改正法律案(百五十二頁)

一　町村制改正法律案(百五十二頁)

一　立竹木ニ關スル法律案(百五十三頁)

一　宅地地價修正法案(百五十五頁)

一　市制又ハ區制施行地内ノ有租地ニ關スル法律案(百五十五頁)

撤回セラレシモノ

一　明治二十九年法律第六十三號ニ代ルヘキ法律案

右各議案ニ付左ニ其ノ議事ノ經過及結果ヲ略述ス

○可決シタルモノ

○一　日本興業銀行法中改正法律案

明治三十九年一月二十日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣法學博士阪谷芳郎連署提出

明治三十九年一月二十五日本案ノ第一讀會ヲ開ク大藏大臣阪谷芳郎本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　正親町實正
平山成信
男爵　高崎安彦
富田鐵之助
内藤宇兵衛
子爵　水野直
關義臣
男爵　毛利五郎
富井政章

本委員ハ一月二十六日伯爵正親町實正ヲ委員長ニ、富田鐵之助ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ同日委員長ハ修正案ヲ具ヘテ議長ニ報告セリ

一月二十七日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長伯爵正親町實正本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ併セテ修正ノ理由ヲ說明シ直ニ大體議ヲ了リ本案ニ付第二讀會ヲ開クコトヲ議決シ貴族院規則第六十九條但書及第七十五條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ續テ第二、第三讀會ヲ開キテ委員會ノ修正ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第二號及第三號ニ在リ

一月二十七日本案ヲ衆議院ニ送付シ二月八日同院ヨリ本院ノ議決ニ同意シテ本案ヲ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

附記

日本興業銀行法中改正法律ハ三十九年二月十三日法律第二號ヲ以テ公布セラレタリ

○二　臺灣銀行法中改正法律案

明治三十九年一月二十日內閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣法學博士阪谷芳郎連署提出

明治三十九年一月二十五日本案ノ第一讀會ヲ開ク大藏大臣阪谷芳郎本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

子爵　青木信光
男爵　尾崎三良
兒島惟謙
男爵　南岩倉具威
森　廣三郎

子爵　牧野忠篤
淺田德則
黑岡帶刀
男爵　藤大路親春

本委員ハ一月二十五日兒島惟謙ヲ委員長ニ、淺田德則ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ同月二十六日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

一月二十七日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長兒島惟謙本案ノ委員會ニ

於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ本案ニ付第二讀會ヲ開クコトヲ議決シ貴族院規則第六十九條但書及第七十五條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ續テ第二、第三讀會ヲ開キテ本案ヲ可決セリ本案ハ戴セテ速記錄第二號ニ在リ

一月二十七日本案ヲ衆議院ニ送付シ二月十日同院ヨリ本院ノ議決ニ同意シテ本案ヲ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

附記

臺灣銀行法中改正法律ハ三十九年二月十九日法律第三號ヲ以テ公布セラレタリ

○三　明治三十五年法律第二十九號中改正法律案

明治三十九年一月二十日內閣總理大臣侯爵西園寺公望、內務大臣原敬連署提出

明治三十九年一月二十五日本案ノ第一讀會ヲ開ク內務大臣原敬本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス伯爵吉井幸藏本案ニ付二回ノ質問ヲ爲シ內務大臣原敬之ニ答辯ス

次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　柳澤保惠　　子爵　竹內惟忠
名村泰藏　　德久恒範
男爵　紀俊秀　　男爵　二條正麿
奧山政敬　　伊澤修二
江角柳四郎

本委員ハ一月二十六日伯爵柳澤保惠ヲ委員長ニ、子爵竹內惟忠ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ即日委員長ハ修正案ヲ具ヘテ議長ニ報告セリ

一月二十七日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長伯爵柳澤保惠本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ併セテ修正ノ理由ヲ說明シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ委員會ノ修正ヲ可決セリ本案ハ戴セテ速記錄第二號及第三號ニ在リ

一月二十七日本案ヲ衆議院ニ送付シ二月十日同院ヨリ本院ノ議決ニ同意シテ本案ヲ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

附記

明治三十五年法律第二十九號中改正法律ハ三十九年二月二十一日法律第五號ヲ以テ公布セラレタリ

○四　明治三十一年法律第三號廢止法律案

明治三十九年一月二十三日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣法學博士阪谷芳郎連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ヲ可決シ二月一日本院ニ送付セリ

明治三十九年二月五日本案ノ第一讀會ヲ開ク大藏大臣阪谷芳郎本案提出ノ趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

子爵　山口弘達
淺田德則
男爵　千秋季隆
宮島誠一郎
子爵　青山幸宜
千坂高雅
日高榮三郎

本委員ハ二月六日子爵青山幸宜ヲ委員長ニ、宮本小一ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ即日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

二月七日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長子爵青山幸宜本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第四號ニ在リ

二月七日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

明治三十一年法律第三號廢止法律ハ三十九年二月十九日法律第四號ヲ以テ公布セラレタリ

○五　臨時軍事費支辨ニ關スル法律案

明治三十九年一月二十三日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣法學博士阪谷芳郎連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ヲ可決シ二月一日本院ニ送付セリ

明治三十九年二月五日本案ノ第一讀會ヲ開ク大藏大臣阪谷芳郎本案提出ノ趣ヲ辯明ス男爵尾崎三良、兒島惟謙、男爵伊達宗敦各〻本案ノ大體又ハ各條ニ付質問ヲ爲シ大藏大臣寺内正毅交〻之ニ答辯ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十六條但書ニ依リ委員ノ數ヲ十五名ト定メ同第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ如ク指名ス

子爵谷干城　子爵曾我祐準
子爵岡部長職　子爵三島彌太郎
男爵松平正直　男爵船越衛
男爵有地品之允　男爵伊達宗敦
小松原英太郎　男爵川口武定

男爵吉川重吉　男爵本多政以
中島永元　藤田四郎
鮫島武之助

本委員ハ二月五日子爵谷干城ヲ委員長ニ、子爵岡部長職ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ同月六日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

二月七日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長子爵谷干城本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第四號ニ在リ

二月七日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

臨時事件費支辨ニ關スル法律ハ三十九年二月十二日法律第一號ヲ以テ公布セラレタリ

○六　民法施行法中改正法律案

明治三十九年二月二日内閣總理大臣兼文部大臣侯爵西園寺公望、陸軍大臣寺内正毅、農商務大臣松岡康毅、外務大臣加藤高明、海軍大臣齋藤實、大藏大臣法學博士阪谷芳郎、遞信大臣山縣伊三郎、司法大臣松田正久、内務大臣原敬連署提出

明治三十九年二月五日本案ノ第一讀會ヲ開ク司法大臣松田正久本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

子爵　鍋島直彬
子爵　堀河護麿
男爵　北大路實信
兒玉淳一郎
下郷傳平
子爵　酒井忠亮
古澤滋
馬屋原二郎
加藤正恵

本委員ハ二月六日子爵鍋島直彬ヲ委員長ニ、馬屋原二郎ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ即日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

二月七日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長子爵鍋島直彬本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ本案ヲ可決セリ本案ハ戴セテ速記錄第四號ニ在リ

二月七日本案ヲ衆議院ニ送付シ同月二十七日同院ヨリ本院ノ議決ニ同意シテ本案ヲ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

附記

民法施行法中改正法律ハ三十九年三月二十二日法律第十三號ヲ以テ公布セラレタリ

○七　國債整理基金特別會計法案

明治三十九年一月二十三日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣法學博士阪谷芳郎連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ヲ可決シ二月六

日本院ニ送付セリ

明治三十九年二月十三日本案ノ第一讀會ヲ開ク大藏大臣阪谷芳郎本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十六條但書ニ依リ委員ノ數ヲ十五名ト定メ同第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ如ク指名ス

伯爵　徳川達孝
子爵　曾我祐準
子爵　三島彌太郎
男爵　松平正直
平山成信
男爵　平野長祥
富田鐵之助
澤原俊雄

本委員ハ二月十四日伯爵徳川達孝ヲ委員長ニ、子爵曾我祐準ヲ副委員長ニ擧ケ

伯爵　吉井幸藏
子爵　堀田正養
男爵　岡内重俊
男爵　前島密
小松原英太郎
男爵　本多政以
廣海二三郎

會議ヲ開クコト二回ニシテ審査ヲ了リ同月十九日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

二月二十三日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長伯爵徳川達孝本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告ス中島永元本案ニ付質問ヲ爲シ大藏大臣阪谷芳郎之ニ答辯シ此ニ大體議ヲ了リ本案ニ付第二讀會ヲ開クコトヲ議決シ貴族院規則第六十九條但書及第七十五條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ續テ第二、第三讀會ヲ開キテ本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第六號ニ在リ

二月二十三日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

國債整理基金特別會計法ハ三十九年三月二日法律第六號ヲ以テ公布セラレタリ

○八　非常特別稅法中改正法律案

明治三十九年一月二十三日內閣總理大臣侯爵西園寺公望、農商務大臣松岡康毅、大藏大臣法學博士阪谷芳郎、司法大臣松田正久、內務大臣原敬

連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ヲ可決シ二月八日本院ニ送付セリ

明治三十九年二月十三日本案ノ第一讀會ヲ開ク大藏大臣阪谷芳郎本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス男爵伊達宗敦、子爵曾我祐準、子爵谷干城、西村亮吉、男爵尾崎三良各、本案ニ付質問ヲ爲シ大藏大臣阪谷芳郎各質問ニ答辯ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十八條ニ依リ連繫事件トシテ本案ノ審査ヲ國債整理基金特別會計法案特別委員ニ付託ス

本委員ハ本案ニ付會議ヲ開クコト三回ニシテ審査ヲ了リ二月二十一日特別委員長伯爵德川達孝ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

二月二十三日本案第一讀會ノ讀會ヲ開ク特別委員長伯爵德川達孝本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告ス男爵伊達宗敦非常特別稅法廢止期限ニ關シ特別委員長ニ對シ質問ヲ爲シ特別委員長伯爵德川達孝之ニ答辯ス男爵伊達宗敦ハ更ニ同一事項ニ關シ數回、桑田熊藏亦一回ノ質問ヲ爲シ大藏大臣阪谷芳郎一々之ニ答辯ス次テ本案ノ大體議ニ移リ子爵谷干城、本案反對ノ意見ヲ述ヘ子爵板倉勝達ハ該意見ニ對シ二回ノ質問ヲ爲シ子爵谷干城之ニ答辯シ此ニ大體議ヲ了リ本案ニ付第二讀會ヲ開クコトヲ議決シ貴族院規則第六十九條但書ニ依リ續テ第二讀會ヲ開クコトヲ議決ス

午後本案ノ第二讀會ヲ開キ第一條ハ異議ナク原案ヲ可決シ第二十七條ニ移ル子爵曾我祐準ハ其ノ提出ニ係ル本案第二十七條ニ對シ本法ノ有効期限ニ關スル修正動議ノ理由ヲ述ヘ次テ子爵三島彌太郎、平山成信ハ修正案反對意見ヲ、木村誓太郎、子爵谷干城ハ同贊成意見ヲ述ヘ修正案提出者ノ一人澤原俊雄ハ反對者ノ意見ニ對シ辯明ヲ爲シ此ニ藤田四郎ノ動議ニ依リテ討論ヲ終局シ即チ記名投票ヲ以テ現修正案ヲ表決ニ付セシニ白色票五十七ニ對スル青色票百八十二ヲ以テ本修正ヲ否決シ次テ多數ヲ以テ原案ヲ可決シ此ニ本案ノ第二讀會ヲ了リ議院ハ貴族院規則第七十五條但書ニ依リ續テ本案ノ第三讀會ヲ開キ第二讀會ノ決議案ヲ可決セリ原案竝修正案ハ載セテ速記錄第六號及第九號ニ在リ

二月二十三日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

非常特別稅法中改正法律ハ三十九年三月二日法律第七號ヲ以テ公布セラレタリ

○九　鐵道敷設法中改正法律案

明治三十九年一月二十三日內閣總理大臣侯爵西園寺公望、陸軍大臣寺內正毅、大藏大臣法學博士阪谷芳郎、遞信大臣山縣伊三郎連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ニ修正ヲ加ヘ同月十日本院ニ送付セリ

明治三十九年二月十四日本案ノ第一讀會ヲ開ク遞信大臣山縣伊三郎本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス千坂高雅原案竝衆議院ノ修正ニ付數回ノ質問ヲ爲シ遞信大臣山縣伊三郎及遞信次官仲小路廉交ゝ之ニ答辯ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

公爵　二條基弘
男爵　石黑忠悳
男爵　長松篤棐
子爵　永井尙敏
男爵　本多副元
古市公威
岡田良平
道源權治
桑田熊藏

本委員ハ二月十七日公爵二條基弘ヲ委員長ニ古市公威ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト二回ニシテ審査ヲ了リ同月二十六日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月三日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク副委員長古市公威委員長ニ代リテ本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告ス千坂高雅原案ニ付二回ノ質問ヲ爲シ遞信大臣山縣伊三郎之ニ答辯シ此ニ大體議ヲ了リ本案ニ付第二讀會ヲ開クコトヲ議決ス次テ貴族院規則第六十九條但書及第七十五條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ續テ第二、第三讀會ヲ開キテ本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第七號ニ在リ

三月三日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

鐵道敷設法中改正法律ハ三十九年三月二十三日法律第十四號ヲ以テ公

布セラレタリ

○十 産業試驗費講習費國庫補助法案

明治三十九年一月二十三日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、農商務大臣松岡康毅、大藏大臣法學博士阪谷芳郎連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ヲ可決シ二月十日本院ニ送付セリ

明治三十九年二月十四日本案ノ第一讀會ヲ開ク政府委員農商務省商工局長森田茂吉本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

侯爵 松平康荘
子爵 加納久宜
子爵 松平直徳
男爵 船越衛
田中芳男
男爵 青山元
男爵 徳川厚
西村亮吉
神野金之助

本委員ハ二月十五日侯爵松平康荘ヲ委員長ニ、子爵加納久宜ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト二回ニシテ審査ヲ了リ同月十六日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

二月二十三日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長侯爵松平康荘本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七第但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ本案ヲ可決セリ本案ハ戰セテ速記錄第七號ニ在リ

二月二十三日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

産業試驗費講習費國庫補助法ハ三十九年三月九日法律第九號ヲ以テ公布セラレタリ

○十一 軍艦水雷艇補充基金ノ組入ニ關スル法律案

明治三十九年一月二十三日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣法學博士阪谷芳郎連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ヲ可決シ二月十日本院ニ送付セリ

明治三十九年二月十四日本案ノ第一讀會ヲ開ク大藏大臣阪谷芳郎本案提出ノ旨趣ヲ辯明シ伊澤修二伯爵柳澤保惠各〻本案ニ付質問ヲ爲シ大藏大臣阪谷芳郎各質問ニ答辯ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

子爵　松平乘承
子爵　松平忠禎
男爵　佐野延勝
宮島誠一郎
宮崎喜久太郎
子爵　牧野忠篤
男爵　相浦紀道
南郷茂光
本間千代吉

本委員ハ二月十五日男爵相浦紀道ヲ委員長ニ、南郷茂光ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ同日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

二月十七日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長男爵相浦紀道本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ本案ヲ可決セリ本案ハ戯セテ速記錄第七號ニ在リ

二月十七日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

軍艦水雷艇補充基金ノ組入ニ關スル法律ハ明治三十九年三月二日法律第八號ヲ以テ公布セラレタリ

○十二　徴兵令中改正法律案

明治三十九年二月十四日內閣總理大臣侯爵西園寺公望、陸軍大臣寺內正毅、海軍大臣齋藤實連署提出

明治三十九年二月十七日本案ノ第一讀會ヲ開ク陸軍大臣寺內正毅本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス子爵高野宗順本案ニ件二回ノ質問ヲ爲シ政府委員陸軍次官石本新六之ニ答辯ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

子爵　前田利定
男爵　小澤武雄

男爵　茨木惟昭
黒岡帶刀
男爵　辻　健介
中田清兵衛

本委員ハ二月二十三日男爵小澤武雄ヲ委員長ニ、男爵野田豁通ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト三回ニシテ審査ヲ了リ三月九日委員長ハ修正案ヲ具ヘテ議長ニ報告セリ

三月十三日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長男爵小澤武雄本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ併セテ修正ノ理由ヲ說明ス伊澤修二本案反對ノ意見ヲ述ヘテ第二讀會ニ移スヘカラスト主張シ陸軍大臣寺內正毅、之ヲ辯駁ス伊澤修二ハ更ニ陸軍大臣ノ辯駁ニ對シ其ノ誤解ノ點ヲ辯シ橋本雄造ハ原案ニ對シ質問ヲ爲シ陸軍大臣寺內正毅之ニ答辯シ此ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ委員會ノ修正案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第七號及第十四號ニ在リ

男爵　野田豁通
男爵　安藤直行
下條正雄

三月十三日本案ヲ衆議院ニ送付シ同月二十七日同院ヨリ本院ノ議決ニ同意シテ本案ヲ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

附記

徵兵令中改正法律ハ三十九年四月十三日法律第四十三號ヲ以テ公布セラレタリ

○十三　輸出羽二重精練業法案

明治三十九年二月十四日內閣總理大臣侯爵西園寺公望、農商務大臣松岡康毅、內務大臣原敬連署提出

明治三十九年二月十七日本案ノ第一讀會ヲ開ク農商務大臣松岡康毅本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス千阪高雅、中島永元、平山成信、田中芳男、男爵船越衛、男爵松平正直子爵高野宗順ハ各〻大體又ハ各條ニ付質問ヲ爲シ農商務大臣松岡康毅、政府委員農商務省商工局長森田茂吉亥〻之ニ答辯ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　廣澤金次郎
男爵　若王子文健
千坂高雅
安廣伴一郎
森　廣三郎

本委員ハ二月二十日伯爵廣澤金次郎ヲ委員長ニ、安廣伴一郎ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト四回ニシテ審査ヲ了リ三月三日委員長ハ修正案ヲ具ヘテ議長ニ報告セリ

三月六日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長伯爵廣澤金次郎本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ併セテ修正ノ理由ヲ說明ス男爵伊達宗敦ハ委員會ノ修正ニ付質問ヲ爲シ委員長伯爵廣澤金次郎之ニ答辯ス伯爵德川達孝本修正ニ對スル政府ノ意見ヲ質シ農商務省大臣松岡康毅政府ハ全然之ニ同意ヲ表スル旨ヲ述ヘ此ニ大體議ヲ了リ本案ニ付第二讀會ヲ開クコトヲ議決シ貴族院規則第六十九條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ直ニ本案ノ第二讀會ヲ開

キ全部ヲ問題ト爲シ異議ナク委員會ノ修正ヲ可決シテ本案ノ第二讀會ヲ了リ貴族院規則第七十五條但書ニヨリ續テ本案ノ第三讀會ヲ開ク千坂高雅ハ既決ノ委員會修正ニ關シ政府ニ對スル希望ヲ述ヘ次テ第二讀會ノ決議案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第八號及第十二號ニ在リ

三月六日本案ヲ衆議院ニ送付シ同月二十二日同院ヨリ本院ノ議決ニ同意シテ本案ヲ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

附記

輸出羽二重精練業法ハ三十九年四月六日法律第三十三號ヲ以テ公布セラレタリ

○十四　産業組合法中改正法律案

明治三十九年二月十四日內閣總理大臣侯爵西園寺公望、農商務大臣松岡康毅連署提出

明治三十九年二月十七日本案ノ第一讀會ヲ開ク農商務大臣松岡康毅本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二

項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

子爵　伊集院彦吉　　子爵　松平親信
辻　新次　　古澤　滋
男爵　小原　適　　谷森眞男
奥山政敬　　伊澤修二
橋本雄造

本委員ハ二月二十日谷森眞男ヲ委員長ニ、奥山政敬ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ即日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

二月二十三日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長谷森眞男本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第八號ニ在リ

二月二十三日本案ヲ衆議院ニ送付シ三月六日同院ヨリ本院ノ議決ニ同意シテ本案ヲ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

附記

産業組合法中改正法律ハ三十九年四月十九日法律第四十五號ヲ以テ公布セラレタリ

○十五　作業會計法中改正法律案

明治三十九年二月二日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣法學博士阪谷芳郎連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ヲ可決シ同月十七日本院ニ送付セリ

明治三十九年二月二十三日本案ノ第一讀會ヲ開ク大藏大臣阪谷芳郎本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

子爵　有馬頼之　　子爵　高野宗順
男爵　小野尊光　　男爵　沖守固
原保太郎　　男爵　辻健介

吉野周太郎
伊藤長次郎

本委員ハ二月二十六日男爵沖守固ヲ委員長ニ、原保太郎ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ同月二十八日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月六日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク委員長代理副委員長原保太郎本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第九號ニ在リ

三月六日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

作業會計法中改正法律ハ三十九年三月二十二日法律第十一號ヲ以テ公布セラレタリ

○十六　韓國ニ於ケル裁判事務ニ關スル法律案

辰巳楢太郎

明治三十九年二月二十一日內閣總理大臣侯爵西園寺公望、司法大臣松田正久連署提出

明治三十九年二月二十六日本案ノ第一讀會ヲ開ク政府委員法制局長官岡野敬次郎本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス名村泰藏本案ニ付二回ノ質問ヲ爲シ政府委員岡野敬次郎之ニ答辯シ次テ特別委員ノ撰擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

子爵　岡部長職
子爵　堀河護麿
名村泰藏
奥山政敬
細谷巖太郎
子爵　岡部長職
兒島惟謙
男爵　紀俊秀
野崎啓造

本委員ハ三月一日子爵岡部長職ヲ副委員長ニ、子爵岡部長職ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ即日委員長ハ修正案ヲ具ヘテ議長ニ報告セリ

三月三日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長子爵長岡護美本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ併セテ修正ノ理由ヲ說明ス關義臣ハ第六條ノ修正ニ付質問ヲ爲シ特別委員長子爵長岡護美及政府委員岡野敬次郎答辯ス平山成信、都筑馨六ハ更ニ第六條ニ付質問シ政府委員岡野敬次郎各質問ニ答辯シ此ニ大體議ヲ了リ本案ニ付第二讀會ヲ開クコトヲ議決セリ

三月六日本案ノ第二讀會ヲ開キ本案全部ヲ問題ト爲ス關義臣ハ第六條ニ付修正ノ動議ヲ提出シテ其ノ理由ヲ述ヘ與山政敬之ニ對シ質問シ發議者之ニ答辯セシモ本動議ハ贊成者ナキヲ以テ問題トナラス次テ委員會修正ノ全部ヲ可決シテ此ニ第二讀會ヲ了リ貴族院規則第七十五條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ續テ本案ノ第三讀會ヲ開キ第二讀會ノ決議案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第十號及第十一號ニ在リ

三月六日本案ヲ衆議院ニ送付シ同月十七日同院ヨリ本院ノ議決ニ同意シテ本案ヲ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

附記

韓國ニ於ケル裁判事務ニ關スル法律ハ三十九年六月二十六日法律第五十六號ヲ以テ公布セラレタリ

○十七　貨幣法中改正法律案

明治三十九年二月二十一日內閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣法學博士阪谷芳郎連署提出

明治三十九年二月二十六日本案ノ第一讀會ヲ開ク大藏大臣阪谷芳郎本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス中島永元、男爵尾崎三良、子爵三島彌太郎、子爵堀田正養本案ニ付各〻質問ヲ爲シ大藏大臣阪谷芳郎各質問ニ答辯ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

侯爵　細川護成
子爵　唐橋在正
男爵　小澤武雄
子爵　堀田正養
男爵　新田忠純
小牧昌業
中島永元
武井守正

長尾四郎右衛門

本委員ハ二月二十七日侯爵細川護成ヲ委員長ニ、男爵小澤武雄ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ三月六日委員長ハ修正案ヲ具ヘテ議長ニ報告セリ

三月九日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク委員長代理副委員長男爵小澤武雄本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ併セテ修正ノ理由ヲ說明シ直ニ大體議ヲ了リ本案ニ付第二讀會ヲ開クコトヲ議決ス

三月十三日本案ノ第二讀會ヲ開キ議長ハ本案全部ヲ問題ト爲ス男爵菊池大麓本案第六條及第十條ニ對スル修正ノ動議ヲ提出シテ其ノ理由ヲ述フ伯爵廣澤金次郎ハ男爵菊池大麓ノ修正案ニ贊成スル旨ヲ述ヘ且委員會ノ修正ニ係ル附則ニ對スル意見ヲ問ヒ男爵菊池大麓之ニ答ヘ三浦安ハ男爵菊池大麓ノ修正說ニ對スル政府ノ意見ヲ質シ大藏大臣阪谷芳郎政府ハ敢テ修正案ニ異議ヲ有セサル旨ヲ答フ是ニ於テ議長ハ第六條及第十條ニ對スル男爵菊池大麓ノ修正ヲ議院ニ諮ヒテ之ヲ可決シ次ヘ附則ニ對スル委員會ノ修正ヲ可決シ此ニ本案ノ

第二讀會ヲ了リ貴族院規則第七十五條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ續テ第三讀會ヲ開キ第二讀會ノ決議案ヲ可決セリ本案及修正案ハ載セテ速記錄第十號、第十三號及第十四號ニ在リ

三月十三日本案ヲ衆議院ニ送付シ同月二十二日同院ヨリ本院ノ議決ニ同意シテ本案ヲ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

附記

貨幣法中改正法律ハ三十九年四月七日法律第二十六號ヲ以テ公布セラレタリ

○十八　陸海軍ニ屬スル臨時事件費特別會計終結ニ關スル法律案

明治三十九年二月二日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣法學博士阪谷芳郎連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ヲ可決シ同月二十二日本院ニ送付セリ

明治三十九年二月二十六日本案ノ第一讀會ヲ開ク大藏大臣阪谷芳郎本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二

項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　松木宗隆
男爵　北垣國道
男爵　藤枝雅之
男爵　眞田幸世
　　鳥越貞敏
　　子爵　井伊直安
男爵　調所廣丈
男爵　小早川四郎
　　田代保之

本委員ハ二月二十八日伯爵松木宗隆ヲ委員長ニ、子爵井伊直安ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ三月五日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月九日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長伯爵松木宗隆本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第十號ニ在リ

三月九日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

陸海軍ニ屬スル臨時事件費特別會計終結ニ關スル法律ハ三十九年五月十一日法律第五十二號ヲ以テ公布セラレタリ

○十九　國債證券ノ取引所稅廢止ニ關スル法律案

明治三十九年二月十七日內閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣法學博士阪谷芳郎連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ヲ可決シ三月十三日本院ニ送付セリ

明治三十九年三月三日本案ノ第一讀會ヲ開ク大藏大臣阪谷芳郎本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　大原重朝
　　辻　新次
男爵　河邊博長
　　木村誓太郎
　　子爵　入江爲守
男爵　北垣國道
　　南郷茂光
　　菊池長四郎

松村脩平

本委員ハ三月六日伯爵大原重朝ヲ委員長ニ、辻新次ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ同月九日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月十三日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長伯爵大原重朝本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第十一號ニ在リ

三月十三日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

國債證券ノ取引所稅廢止ニ關スル法律ハ三十九年三月二十三日法律第十二號ヲ以テ公布セラレタリ

○二十　內國官憲ノ管掌ニ屬スル事項ニ付統監ノ職權ニ關スル法律案

明治三十九年二月二十八日內閣總理大臣侯爵西園寺公望署名提出

明治三十九年三月六日本案ノ第一讀會ヲ開ク政府委員法制局長官岡野敬次郎本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

子爵　鍋島直彬
三浦安
男爵　四條隆平
谷森眞男
五藤正形
子爵　黑田和志
男爵　菊池大麓
田邊輝實
清瀨善三

本委員ハ三月七日子爵鍋島直彬ヲ委員長ニ、三浦安ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ即日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月九日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長子爵鍋島直彬本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告ス伯爵廣澤金次郎本案ニ付質問ヲ爲シ政府委員岡野敬次郎之ニ答辯シ此ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院

ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第十二號ニ在リ

三月九日本案ヲ衆議院ニ送付シ同月十七日同院ヨリ本院ノ議決ニ同意シテ本案ヲ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

附記

內國官憲ノ管掌ニ屬スル事項ニ付統監ノ職權ニ關スル法律ハ三十九年六月二十七日法律第五十七號ヲ以テ公布セラレタリ

○二十一　臺灣總督府鐵道部現金前渡官吏設置ニ關スル法律案

明治三十九年三月一日內閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣法學博士阪谷芳郎、內務大臣原敬連署提出

明治三十九年三月六日本案ノ第一讀會ヲ開ク內務大臣原敬本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス伯爵柳原義光本案ニ付質問ヲ爲シ內務大臣原敬之ニ答辯ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

侯爵　池田詮政
子爵　松平直敬
男爵　尙順
馬屋原二郎
並木和一

子爵　毛利元忠
小松原英太郎
何禮之
佐々木嘉太郎

本委員ハ三月九日小松原英太郎ヲ委員長ニ、馬屋原二郎ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ同月十三日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月十六日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長小松原英太郎本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第十二號ニ在リ

三月十六日本案ヲ衆議院ニ送付シ同月二十四日同院ヨリ本院ノ議決ニ同意シテ本案ヲ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

附記

臺灣總督府鐵道部現金前渡官吏設置ニ關スル法律ハ三十九年四月七日法律第二十五號ヲ以テ公布セラレタリ

○二十二　貯蓄銀行法案

明治三十九年三月一日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣法學博士阪谷芳郎連署提出

明治三十九年三月六日本案ノ第一讀會ヲ開ク大藏大臣阪谷芳郎本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス奥山政敬本案ニ付二回ノ質問ヲ爲シ政府委員大藏次官若槻禮次郎之ニ答辯ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　徳川達孝
子爵　稻垣太祥
子爵　青木信光
男爵　尾崎三良
男爵　川口武定
武井守正
室田義文
神野金之助

内藤宇兵衛

本委員ハ三月七日伯爵徳川達孝ヲ委員長ニ、武井守正ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト四回ニシテ審査ヲ了リ同月十五日委員長ハ修正案ヲ具ヘテ議長ニ報告セリ

三月十九日本案第一續會ノ讀會ヲ開ク特別委員長伯爵徳川達孝本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ併セテ修正ノ理由ヲ説明ス千坂高雅ハ數回、谷森眞男ハ一回ノ質問ヲ爲シ大藏大臣阪谷芳郎各質問ニ答辯シ此ニ大體議ヲ了リ本案ニ付第二讀會ヲ開クコトヲ議決ス

三月二十二日本案ノ第二讀會ヲ開ク第一條ヨリ委員會修正第二十二條マテヲ問題ト爲シ異議ナク委員會報告通リ之ヲ可決シ委員會修正ノ第二十三條ニ移ル澤原俊雄ハ本條委員會ノ修正ニ反對シ原案ヲ可トスル意見ヲ述ヘ特別委員武井守正之ヲ辯駁シ澤原俊雄ハ更ニ武井守正ノ所説ニ反對ス次テ本條ヲ表決ニ付シテ委員會ノ修正ヲ可決シ續テ委員會ノ修正第二十四條ヨリ同第三十九條マテヲ問題ト爲シ異議ナク委員會報告ノ通リ之ヲ可決シ此ニ本案ノ第二讀

會ヲ了リ貴族院親則第七十五條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ續テ第三讀會ヲ開キ第二讀會ノ決議案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第十二號及第十六號ニ在リ

三月二十二日本案ヲ衆議院ニ送付セリ

附記

本案ハ衆議院ニ於テ議決スルニ至ラスシテ閉會セラレタリ

○二十三　鹽專賣法中改正法律案

明治三十九年二月十四日內閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣法學博士阪谷芳郎連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ヲ可決シ三月八日本院ニ送付セリ

明治三十九年三月十三日本案ノ第一讀會ヲ開ク大藏大臣阪谷芳郎本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス男爵石黑忠悳、田中芳男各〻本案ニ付質問ヲ爲シ政府委員大藏次官若槻禮次郎各質問ニ答辯ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

子爵　加納久宜
　　兒島惟謙
男爵　山內豐誠
　　南郷茂光
　　野崎武吉郎

子爵　牧野忠篤
　　田中芳男
男爵　德川厚
　　安廣伴一郎

本委員ハ三月十五日子爵牧野忠篤ヲ委員長ニ、田中芳男ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト二回ニシテ審査ヲ了リ同月十七日副委員長ハ本案ヲ可決スル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月二十二日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク副委員長田中芳男委員長ニ代リテ本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告ス伊澤修二ハ委員會ノ報告ニ付質問ヲ爲シ副委員長田中芳男之ニ答辯シ此ニ大體議ヲ了リ本案ニ付第二讀會ヲ開クコトヲ議決シ貴族院規則第六十九條但書及第七十五條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ續テ第二、第三讀會ヲ開キテ本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第十四號ニ在リ

三月二十二日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

鹽專賣法中改正法律ハ三十九年三月三十日法律第十五號ヲ以テ公布セラレタリ

○二十四　癈兵院法案

明治三十九年三月一日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、陸軍大臣寺内正毅、海軍大臣齋藤實連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ニ修正ヲ加ヘ同月十三日本院ニ送付セリ

明治三十九年三月十九日本案ノ第一讀會ヲ開ク陸軍大臣寺内正毅本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　吉井幸藏
男爵　小澤武雄
名村泰藏
三浦安
男爵　船越衛
男爵　石黒忠悳

男爵　川口武定
宮崎喜久太郎
岡田良平

本委員ハ三月二十日伯爵吉井幸藏ヲ委員長ニ、三浦安ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ同月二十二日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月二十四日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長伯爵吉井幸藏本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ本案ヲ可決セリ本案ハ戴セテ速記錄第十六號ニ在リ

三月二十四日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案ヲ可決セル旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

癈兵院法ハ三十九年四月七日法律第二十九號ヲ以テ公布セラレタリ

○二十五　鐵道國有法案

○二十六　京釜鐵道買收法案

明治三十九年三月三日兩案孰モ内閣總理大臣侯爵西園寺公望、陸軍大臣寺内正毅、大藏大臣法學博士阪谷芳郎、遞信大臣山縣伊三郎連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ孰モ之ヲ可決シ同月十六日兩案ヲ本院ヱ送付セリ

明治三十九年三月十九日先ッ鐵道國有法案ノ第一讀會ヲ開ク内閣總理大臣侯爵西園寺公望本案並京釜鐵道買收法案提出ノ旨趣ヲ辯明ス西村亮吉、男爵伊達宗敦、伯爵廣澤金次郎、子爵谷干城、村田保、伯爵德川達孝、子爵伊集院兼知、男爵尾崎三良、子爵曾我祐準各、本案ノ大體又ハ各條ニ付質問ヲ爲シ内閣總理大臣侯爵西園寺公望、陸軍大臣寺内正毅、大藏大臣阪谷芳郎、遞信大臣山縣伊三郎、政府委員遞信次官仲小路廉、鐵道作業局長官平井晴二郎、遞信省鐵道局長山之内一次夫々之ニ答辯ス伯爵柳澤保惠ハ熟考ノ餘裕ヲ與フル爲本日ノ第一讀會ヲ此ニ止メテ次回ニ延期スルノ動議ヲ提出シ伯爵柳原義光該動議ニ贊成ノ意見ヲ述フ是ニ於テ議長ハ該動議ヲ起立ニ問ヒシニ其ノ結果ノ宣告ニ異議アリシヲ以テ更ニ氏名點呼ヲ行ヒ該動議ニ贊成ノ數百五名、反對ノ數百三十六名ヲ以テ延會ノ動議ヲ否決シ次テ特別委員ノ選擧ニ移ル議院ハ貴族院規則第四十六條但書ニ依リ委員ノ數ヲ二十七名ト定メ同第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ如ク指名ス

侯爵　黒田長成
伯爵　德川達孝
子爵　井上勝
子爵　岡部長職
子爵　三島彌太郎
男爵　松平正直
　　平山成信
男爵　伊達宗敦
男爵　野田豁通
男爵　佐野延勝
伯爵　正親町實正
子爵　谷干城
子爵　曾我祐準
子爵　堀田正養
子爵　牧野忠篤
男爵　小澤武雄
男爵　有地品之允
　　小松原英太郎
　　山川健次郎
男爵　紀俊秀

南鄉茂光
藤田四郎
磯邊包義
下鄉傳平
古市公威
武井守正
桑田熊藏

次テ京釜鐵道買收法案ノ第一讀會ヲ開キ直ニ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十八條ニ依リ連繫事件トシテ本案ノ審査ヲ鐵道國有法案特別委員ニ付託ス

本委員ハ三月二十日侯爵黒田長成ヲ委員長ニ伯爵正親町實正ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト兩案各〻六回ニシテ審査ヲ了リ同月二十六日委員長ハ鐵道國有法案ハ修正案ヲ具ヘ京釜鐵道買收法案ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月二十七日兩案第一讀會ノ續會ヲ開キ先ツ鐵道國有法案ヲ問題ト爲ス特別委員長侯爵黒田長成ハ本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ併セテ修正ノ理由ヲ說明ス村田保ハ修正案ニ付質問ヲ爲シ特別委員長侯爵黒田長

成之ニ答辯シ此ニ正午ノ休憩ヲ爲ス

午後會議ヲ繼續シ桑田熊藏ハ本案反對ノ意見ヲ述ヘ男爵尾崎三良、男爵伊達宗敦各〻原案ニ付質問ヲ爲シ遞信大臣山縣伊三郎、政府委員仲小路廉交〻之ニ答辯ス古市公威ハ本案贊成ノ意見ヲ、男爵尾崎三良ハ本案反對ノ意見ヲ述ヘ武井守正ハ原案ニハ反對ナリシモ委員會ノ修正ニハ贊成ヲ表スル旨ヲ述フ次テ村田保子爵谷干城ハ各〻本案反對ノ意見ヲ田健治郎ハ本案贊成ノ意見ヲ述ヘ此ニ討論終局ノ動議ヲ可決シテ大體議ヲ了リ次テ本案ニ付キ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ記名投票ヲ以テ採決シ否トスル者六十二票ニ對シ可トスル者二百五票ノ多數ヲ以テ本案ニ付第二讀會ヲ開クコトヲ議決シ貴族院規則第六十九條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ本案全部ヲ問題ト爲シ異議ナク委員會ノ修正ヲ可決シ次テ貴族院規則第七十五條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ續テ本案ノ第三讀會ヲ開キ第二讀會ノ決議案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第十六號及第二十一號ニ在リ

次テ京釜鐵道買收法案ニ移リ特別委員長侯爵黒田長成本案ノ委員會ニ於ケル

經過及結果ヲ議院ニ報告ス男爵伊達宗敦本案ニ贊成ヲ表スル旨ヲ述ヘ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第十六號ニ在リ

三月二十七日鐵道國有法案ハ之ヲ衆議院ニ回付シ同日同院ヨリ本院ノ修正ニ同意シテ本案ヲ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ又同日京釜鐵道買收法案ハ即日裁可ヲ奏請シ同時ニ本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

鐵道國有法ハ三十九年三月三十一日法律第十七號ヲ以テ、京釜鐵道買收法ハ同日法律第十八號ヲ以テ孰モ公布セラレタリ

○二十七　醬油稅則中改正法律案

明治三十九年三月二日內閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣法學博士阪谷芳郎連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ニ修正ヲ加ヘ同月十七日本院ニ送付セリ

明治三十九年三月十九日本案ノ第一讀會ヲ開キ直ニ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

子爵　唐橋在正
男爵　北垣國道
西村亮吉
野崎啓造
五十嵐敬止
子爵　前田利定
男爵　西五辻文仲
渡正元
佐藤伊左衛門

本委員ハ三月二十日子爵唐橋在正ヲ委員長ニ、子爵前田利定ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ同月二十三日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月二十六日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長子爵唐橋在正本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ此ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第十六號ニ在リ

三月二十六日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

醬油稅則中改正法律ハ三十九年三月三十日法律第十六號ヲ以テ公布セラレタリ

○二十八　軍人恩給法中改正法律案

明治三十九年三月一日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、陸軍大臣寺内正毅、海軍大臣齋藤實連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ヲ可決シ同月十七日本院ニ送付セリ

明治三十九年三月十九日本案ノ第一讀會ヲ開ク陸軍大臣寺内正毅本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十八條ニ依リ連繫事件トシテ本案ノ審査ヲ癈兵院法案特別委員ニ付託ス

本委員ハ本案ニ付會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ三月二十二日委員長伯爵吉井幸藏ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月二十四日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長伯爵吉井幸藏本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ本案ヲ可決セリ本案ハ戴セテ速記錄第十六號ニ在リ

三月二十四日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

軍人恩給法中改正法律ハ三十九年四月一日法律第二十號ヲ以テ公布セラレタリ

○二十九　紙幣類似證券取締法案

明治三十九年三月十九日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣法學博士阪谷芳郎、内務大臣原敬連署提出

明治三十九年三月二十二日大藏大臣阪谷芳郎本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

子爵　本莊壽　巨

子爵　黒田和志

兒島惟謙
關　義臣
男爵　北大路實信
野崎啓造
村田　保
男爵　平野長祥
奥山政敬

本委員ハ三月二十三日子爵本莊壽巨ヲ委員長ニ兒島惟謙ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ即日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月二十四日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長子爵本莊壽巨本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ本案ヲ可決セリ本案ハ議セテ速記錄第十七號ニ在リ

三月二十四日本案ヲ衆議院ニ送付シ同月二十六日同院ヨリ本院ノ議決ニ同意シテ本案ヲ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

附記

紙幣類似證券取締法ハ三十九年五月八日法律第五十一號ヲ以テ公布セラレタリ

○三十　工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻稅法案

明治三十九年三月一日內閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣法學博士阪谷芳郎連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ニ修正ヲ加ヘ同月十九日本院ニ送付セリ

明治三十九年三月二十二日本案ノ第一讀會ヲ開ク大藏大臣阪谷芳郎本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　柳原義光
子爵　京極高德
淺田德則
小牧昌業
男爵　杉溪言長
千秋秀隆
岩村兼善
澤原俊雄
道源權治

本委員ハ三月二十三日伯爵柳原義光ヲ委員長ニ、淺田德則ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ同月二十四日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月二十五日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク副委員長淺田德則委員長ニ代リテ本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ本案ヲ可決セリ

本案ハ載セテ速記錄第十七號ニ在リ

三月二十五日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戾稅法ハ三十九年四月二十四日法律第四十六號ヲ以テ公布セラレタリ

○三十一　官國幣社經費ニ關スル法律案

明治三十九年三月十二日內閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣法學博士阪谷芳郎、內務大臣原敬連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ

本案ニ修正ヲ加ヘ同月十九日本院ニ送付セリ

明治三十九年三月二十二日本案ノ第一讀會ヲ開ク政府委員內務次官吉原三郎本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス田中芳男本案ニ付質問ヲ爲シ政府委員內務省神社局長水野錬太郎之ニ答辯ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴議院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

子爵　藤井行德
宮本小一
男爵　沖守固
男爵　小原適
橋本雄造
子爵　牧野貞寧
男爵　赤松則良
男爵　金子有卿
秋月新太郎

本委員ハ三月二十四日宮本小一ヲ委員長ニ、男爵沖守固ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ即日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月二十五日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長宮本小一本案ノ委員會ニ

於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第十七號ニ在リ

三月二十五日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

官國幣社經費ニ關スル法律ハ三十九年四月七日法律第二十四號ヲ以テ公布セラレタリ

○三十二　農工銀行補助法中改正法律案

明治三十九年三月二十四日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣阪谷芳郎連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ヲ可決シ同月十九日本院ニ送付セリ

明治三十九年三月二十二日本案ノ第一讀會ヲ開ク大藏大臣阪谷芳郎本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

子爵　鳥居忠文
男爵　淺野守夫
中島永元
下條正雄
伊藤長次郎

子爵　新莊直陳
男爵　本多政以
鮫島武之助
下村辰右衛門

本委員ハ三月二十三日子爵鳥居忠文ヲ委員長ニ、男爵本多政以ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ即日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月二十四日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長子爵鳥居忠文本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第十七號ニ在リ

三月二十四日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

農工銀行補助法中改正法律ハ三十九年四月七日法律第二十八號ヲ以テ公布セラレタリ

○三十三　明治三十八年法律第十七號中改正法律案

明治三十九年三月十六日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣法學博士阪谷芳郎連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ヲ可決シ同月二十二日本院ニ送付セリ

明治三十九年三月二十四日本案ノ第一讀會ヲ開ク大藏大臣阪谷芳郎本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

侯爵　池田詮政
子爵　鍋島直柔
男爵　野村素介
古莊嘉門
岩月直彦
子爵　山内豐誠
子爵　樋口誠康
男爵　徳川厚
加藤正恵

本委員ハ三月二十四日侯爵池田詮政ヲ委員長ニ、子爵山内豐誠ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ即日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月二十五日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長侯爵池田詮政本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第十八號ニ在リ

三月二十五日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

明治三十八年法律第十七號中改正法律ハ三十九年四月七日法律第二十七號ヲ以テ公布セラレタリ

○三十四　明治三十三年法律第七十五號中改正法律案

○三十五　明治三十三年法律第七十六號中改正法律案

明治三十九年三月十六日明治三十三年法律第七十五號中改正法

律案ハ内閣總理大臣侯爵西園寺公望、陸軍大臣寺内正毅、内務大臣原敬連署、明治三十三年法律第七十六號中改正法律案ハ内閣總理大臣侯爵西園寺公望、陸軍大臣寺内正毅、海軍大臣齋藤實連署ノ上、衆議院ニ提出シ同院ニ於テ兩案ヲ可決シ同月二十二日本院ニ送付セリ

明治三十九年三月二十四日兩案ノ各第一讀會ヲ開ク政府委員陸軍次官石本新六兩案ニ付提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ順次特別委員ノ選擧ニ移リ明治三十三年法律第七十五號中改正法律案ニ付テハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

侯爵　大炊御門幾麿
子爵　山本實庸
男爵　玉松眞幸
吉野周太郎
五藤正形
伯爵　島津忠亮
子爵　山口弘達
松本鼎
田代保之

次テ明治三十三年法律第七十六號中改正法律案ハ貴族院規則第四十八條ニ依リ連繫事件トシテ其ノ審査ヲ明治三十三年法律第七十五號中改正法律案特別委員ニ付託ス

本委員ハ三月二十四日侯爵大炊御門幾麿ヲ委員長ニ、伯爵島津忠亮ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト各〻一回ニシテ審査ヲ了リ同月二十五日副委員長ハ兩案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月二十七日兩案及第一讀會ノ續會ヲ開ク副委員長伯爵島津忠亮委員長ニ代リテ兩案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ就モ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ三讀會ノ順序ヲ省略シテ兩案ヲ可決セリ兩案ハ會議錄第十八號ニ在リ

三月二十七日兩案ノ裁可ヲ奏請シ又兩案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

明治三十三年法律第七十五號中改正法律ハ三十九年四月一日法律第二十一號ヲ以テ、明治三十三年法律第七十六號中改正法律ハ同日第二十二

號ヲ以テ孰モ公布セラレタリ

○三十六　關稅定率法改正法律案

明治三十九年三月二日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣法學博士阪谷芳郎連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ニ修正ヲ加ヘ同月二十三日本院ニ送付セリ

明治三十九年三月二十四日本案ノ第一讀會ヲ開ク大藏大臣阪谷芳郎本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス伯爵廣澤金次郎、西村亮吉各〻本案ニ付質問ヲ爲シ大藏大臣阪谷芳郎各〻質問ニ答辯ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　正親町實正
男爵　松平正直
男爵　吉川重吉
西村亮吉
辻新次
平山成信
男爵　本多政以
藤田四郎

本委員ハ三月二十五日伯爵正親町實正ヲ委員長ニ、男爵松平正直ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト二回ニシテ審査ヲ了リ同月二十六日委員長ハ修正案ヲ具ヘテ議長ニ報告セリ

三月二十七日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク副委員長男爵松平正直委員長ニ代リテ本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ併セテ修正ノ理由ヲ說明ス伯爵廣澤金次郎ハ委員會ノ修正ニ付、男爵尾崎三良ハ原案ニ付各〻質問ヲ爲シ副委員長男爵松平正直及大藏大臣阪谷芳郎各〻質問ニ答辯シ此ニ大體議ヲ了リ本案ニ付第二讀會ヲ開クコトヲ議決ス次テ男爵松平正直ハ議事日程ヲ變更シテ直ニ第二讀會ヲ開クノ動議ヲ提出セシニ男爵伊達宗敦ハ之ニ反對シテ相當ノ時間ヲ經テ第二讀會ヲ開クヘキノ意見ヲ述ヘ男爵尾崎三良、關義臣之ニ贊成シ平山成信、子爵谷干城、侯爵細川護成ハ直ニ第二讀會ヲ開クノ動議ニ贊成シ採決ノ結果男爵松平正直ノ動議ヲ可決シ貴族院規則第六十九條但書ニ依リ直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キテ本案全部ヲ問題ト爲シ直ニ委員會ノ報告通リ本案ヲ可決シテ此ニ第二讀會ヲ了リ貴族院規則第七十五條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ

以テ續テ第三讀會ヲ開キ第二讀會ノ決議案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第十八號及第二十一號ニ在リ

三月二十八日本案ヲ衆議院ニ回付セリ

同日衆議院ヨリ本院ノ修正ニ同意セサルコトヲ議決セル旨ヲ以テ議院法第五十五條ニ依リ兩院協議會ヲ開クノ請求ヲ受ケ且同院協議委員ノ數ヲ十名ト爲スニ決セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

同日兩院協議委員ノ選擧ヲ行ヒ議院ハ貴族院規則第百八十五條及第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ十名ヲ指名ス

伯爵　正親町實正
男爵　松平正直
男爵　吉川重吉
西村亮吉
辻新次
平山成信
男爵　本多政以
南郷茂光
藤田四郎
廣海二三郎

本委員ハ即日伯爵正親町實正ヲ議長ニ、男爵松平正直ヲ副議長ニ擧ケ續テ兩院協議委員相會同シ兩院協議委員議長ハ其ノ成案ヲ具ヘテ議長ニ報告セリ

同日衆議院ニ於テ兩院協議會成案ヲ可決シ議院法第五十六條ニ依リ直ニ同成案ヲ本院ニ送付セリ

同日議事日程ヲ變更シテ本案兩院協議會成案ノ會議ヲ開ク兩院協議委員副議長男爵松平正直ハ議長ニ代リテ本案ノ兩院協議會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ異議ナク兩院協議會ノ成案ヲ可決セリ成案ハ載セテ速記錄第二十一號ニ在リ

同日本案ノ裁可ヲ奏請シ又兩院協議會成案ヲ可決セル旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

關稅定率法改正法律ハ三十九年三月三十一日法律第十九號ヲ以テ公布セラレタリ

○三十七　國債ニ關スル法律案

○三十八　登錄稅法中改正法律案

明治三十九年三月二十日兩案就モ内閣總理大臣侯爵西園寺公望

大藏大臣法學博士阪谷芳郎連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ兩案ヲ可決シ國債ニ關スル法律案ハ同月二十四日兆モ本院ニ送付セリ

明治三十九年三月二十七日兩案ノ各第一讀會ヲ開ク大藏大臣阪谷芳郎兩案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ先ツ國債ニ關スル法律案特別委員ノ選定ヲ議長ニ委任シ次テ登錄稅法中改正法律案特別委員ノ選定ヲ議長ニ委任シ次テ登錄稅法中改正法律案ハ貴族院規則第四十八條ニ依リ連繫事件トシテ其審査ヲ國債ニ關スル法律案特別委員ニ付託ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

子爵　松平直平　子爵　永井尙敏　田邊輝實
男爵　沖守固　男爵　平野長祥　男爵　長松篤棐
中島永元　富田鐵之助　道源權治

本委員ハ同日男爵沖守固ヲ委員長ニ、中島永元ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト各〻一回ニシテ兩案ノ審査ヲ了リ委員長ハ直ニ兩案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

同日議事日程ヲ變更シテ兩案各第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長男爵沖守固兩案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ兩案ヲ可決セリ兩案ハ載セテ速記錄第二十一號ニ在リ

三月二十七日兩案ノ裁可ヲ奏請シ又兩案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

國債ニ關スル法律ハ三十九年四月十一日法律第三十四號ヲ以テ、登錄稅法中改正法律案ハ同日法律第三十五號ヲ以テ兆モ公布セラレタリ

○三十九　臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案

明治三十九年三月二十五日內閣總理大臣侯爵西園寺公望、內務大臣原敬連署提出

明治三十九年三月二十五日議事日程ヲ變更シテ本案ノ第一讀會ヲ開ク政府委員臺灣總督府民政長官後藤新平本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議

長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

公爵　二條基弘　伯爵　柳澤保惠　子爵　水野直

男爵　前島密　都筑馨六　菊池武夫

古莊嘉門　穗積八束　鎌田勝太郎

本委員ハ同日公爵二條基弘ヲ委員長ニ、伯爵柳澤保惠ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ即日委員長ハ修正案ヲ具ヘテ議長ニ報告セリ三月二十六日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長公爵二條基弘本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ併セテ修正ノ理由ヲ說明ス伯爵大原重朝委員會ノ修正ニ付質問ヲ爲シ特別委員長公爵二條基弘之ニ答辯シ此ニ大體議ヲ了リ本案ニ付第二讀會ヲ開クコトヲ議決シ貴族院規則第六十九條但書及第七十五條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ續テ第二、第三讀會ヲ開キテ委員會ノ修正ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第十九號及第二十號ニ在ヲ三月二十六日本案ヲ衆議院ニ送付シ同日同院ヨリ本院ノ議決ニ同意シテ本案ヲ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

附記

臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律ハ三十九年四月一日法律第三十一號ヲ以テ公布セラレタリ

○四十　帝國鐵道會計法案

○四十一　官設鐵道用品資金會計法中改正法律案

○四十二　韓國ニ於テ帝國ノ經營スル鐵道ノ會計ニ關スル法律案

○四十三　鐵道國有法及京釜鐵道買收法ニ依リ買收シタル鐵道ノ出納官吏ニ關スル法律案

明治三十九年三月二十四日各案孰モ內閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣法學博士阪谷芳郎、遞信大臣山縣伊三郎連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ各案ヲ可決シ同月二十六日本院ニ送付セリ

明治三十九年三月二十七日政府ヨリ四議案ハ緊急事件トシテ議決相成度旨ノ請求アリ即チ同日議事日程ヲ變更シテ各案ノ第一讀會ヲ開キ大藏大臣阪谷芳郎ハ四案提出ノ旨趣ヲ辯明ス伯爵柳澤保惠、男爵尾崎三良ハ各〻帝國鐵道會計法

案外三件ニ關スル質問ヲ爲シ大藏大臣阪谷芳郎各質問ニ答辯ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十八條ニ依リ連繫事件トシテ帝國鐵道會計法案外三件ヲ同一ノ特別委員ニ付託スルコトヲ議決シ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

子爵曾我祐準　子爵牧野忠篤　男爵相浦紀道
男爵菊池大麓　男爵佐野延勝　男爵川口武定
古市公威　下條正雄　木村誓太郎

本委員ハ同日子爵曾我祐準ヲ委員長ニ、男爵菊池大麓ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト各一回ニシテ各案ノ審査ヲ了リ即日委員長ハ各案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

同日午後議事日程ヲ變更シテ帝國鐵道會計法案外三件第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長子爵曾我祐準各案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ四案ノ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ各案ヲ可決セリ各議ハ案載セテ速記錄第二十一號ニ在リ

同日帝國鐵道會計法案外三件ノ裁可ヲ奏請シ又各案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

帝國鐵道會計法ハ三十九年四月十一日法律第三十七號ヲ以テ、官設鐵道用品資金會計法中改正法律ハ同日法律第三十八號ヲ以テ、韓國ニ於テ帝國ノ經營スル鐵道ノ會計ニ關スル法律ハ同日法律第三十九號ヲ以テ、鐵道國有法及京釜鐵道買收法ニ依リ買收シタル鐵道ノ出納官吏ニ關スル法律ハ同日法律第四十號ヲ以テ孰モ公布セラレタリ

○四十四　海上衝突豫防法中改正法律案

明治三十九年三月二十五日內閣總理大臣侯爵西園寺公望、海軍大臣齋藤實、遞信大臣山縣伊三郎連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ヲ可決シ同月二十六日本院ニ送付セリ

明治三十九年三月二十七日議事日程ヲ變更シテ本案ノ第一讀會ヲ開ク遞信大臣山縣伊三郎本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族

院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

侯爵　細川護成　　伯爵　吉井幸藏　　子爵　板倉勝達
男爵　赤松則良　　男爵　黒岡帶刀　　男爵　南岩倉具威
石井省一郎　　奥山政敬　　兒玉淳一郎

本委員ハ同日侯爵細川護成ヲ委員長ニ、伯爵吉井幸藏ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ即日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ。

同日議事日程ヲ變更シテ本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長侯爵細川護成本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第二十一號ニ在リ

同日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

海上衝突豫防法中改正法律ハ三十九年四月十八日法律第四十四號ヲ以テ公布セラレタリ

○四十五　地租條例ヲ北海道ニ施行スル件ニ關スル法律案

明治三十九年三月十四日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣法學博士阪谷芳郎連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ニ修正ヲ加ヘ同月二十六日本院ニ送付セリ

明治三十九年三月二十七日議事日程ヲ變更シテ本案ノ第一讀會ヲ開ク大藏大臣阪谷芳郎本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

子爵　山口弘達　　子爵　伊集院兼知　　男爵　野村素介
關義臣　　男爵　安藤直行　　谷森眞男
湯地定基　　村岡淺右衛門　　日高榮三郎

本委員ハ同日男爵野村素介ヲ委員長ニ、關義臣ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコ

ト一回ニシテ審査ヲ了リ即日副委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ
同日議事日程ヲ變更シテ本案第一讀會ノ續會ヲ開ク副委員長關義臣ハ委員長ニ代リテ本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ本案ヲ可決セリ本案ハ戰時ニ關シ同日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

○四十六　刑ノ執行ヲ猶豫セラレタル者ノ公民權及議員選擧權被選擧權ニ關スル法律案

明治三十九年三月二十三日內閣總理大臣侯爵西園寺公望、內務大臣原敬連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ヲ可決シ同月二十七日本院ニ送付セリ

明治三十九年三月二十七日議事日程ヲ變更シテ本案ノ第一讀會ヲ開キ直ニ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

子爵　酒井忠亮　　子爵　松平親信
男爵　若王子文健　　男爵　二條正麿　　兒島惟謙
男爵　菊池大麓　　高木豐三　　野崎啓造　　日高榮三郎

本委員ハ同日子爵酒井忠亮ヲ委員長ニ、兒島惟謙ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ即日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ」
同日議事日程ヲ變更シテ本案第一讀會ノ續會ヲ開ク子爵酒井忠亮本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ本案ヲ可決セリ本案ハ戰時ニ關シ同日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

刑ノ執行ヲ猶豫セラレタル者ノ公民權及議員選擧權被選擧權ニ關スル法律ハ三十九年六月二十二日法律第五十四號ヲ以テ公布セラレタリ

○議決ニ至ラサリシモノ

○一　郡制廢止法律案

○二　市制改正法律案

○三　町村制改正法律案

明治三十九年三月五日各案竝モ内閣總理大臣侯爵西園寺公望、内務大臣原敬連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ郡制廢止法律案ハ之ヲ可決シ市制改正法律案町村制改正法律案ハ共ニ修正ヲ加ヘ同月十七日竝モ本院ニ送付セリ

明治三十九年三月十九日三案ノ各第一讀會ヲ開ク内務大臣原敬各案ニ付其ノ提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ順次特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十六條但書ニ依リ郡制廢止法律案特別委員ノ數ヲ十五名ト定メ同第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任シ次テ貴族院規則第四十八條ニ依リ連繫事件トシテ市制改正法律案及町村制改正法律案ノ審査ヲ郡制廢止法律案特別委員ニ付託ス議長乃チ左ノ如ク指名ス

侯爵　細川護成　　伯爵　蔦里小路通房

伯爵　清棲家教

子爵　鍋島直彬　　子爵　入江爲守

男爵　船越衛

小松原英太郎　　田邊輝實

男爵　南岩倉具威

男爵　小早川四郎　　男爵　藤大路親春

千阪高雅

一木喜德郎　　關清英

野崎武吉郎

本委員ハ同月二十日侯爵細川護成ヲ委員長ニ、子爵鍋島直彬ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト各三回而シテ審査ヲ結了スルニ至ラスシテ閉會セラレタリ

○四　立竹木ニ關スル法律案

明治三十九年三月十九日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、農商務大臣松岡康毅、司法大臣松田正久連署提出

明治三十九年三月二十二日本案ノ第一讀會ヲ開ク司法大臣松田正久本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

名村泰藏　　男爵　菊池大麓

子爵　酒井忠亮

山脇玄　　男爵　若王子文健

原保太郎

都筑馨六

本委員ハ三月二十三日名村泰藏ヲ委員長ニ富井政章ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ即日委員長ハ修正案ヲ具ヘテ議長ニ報告セリ」

三月二十四日議事日程ヲ變更シテ本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長名村泰藏本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ併セテ修正ノ理由ヲ說明ス藤田四郎本案ニ對スル大體ノ意見ヲ述ヘ此ニ大體議ヲ了リ本案ニ付第二讀會ヲ開キ全部ヲ問題ト爲ス都筑馨六關義臣各原案ニ付質問ヲ爲シ政府委員司法省民刑局長平沼騏一郎各質問ニ答辯ス藤田四郎本案ヲ前特別委員ノ再審査ニ付スル動議ヲ提出シテ其ノ理由ヲ述フ次テ本動議ヲ表決ニ付シテ之ヲ可決シ本案ヲ同一委員ニ付託ス

本委員ニ於テ本案ノ再審査ニ着手スルニ至ラスシテ閉會セラレタリ本案ハ載セテ速記錄第十七號及第十八號ニ在リ

○五　宅地地價修正法案

明治三十九年二月十四日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣法學博士阪谷芳郎連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ニ修正ヲ加ヘ同月二十六日本院ニ送付セリ

本案ハ其ノ第一讀會ヲ開クニ至ラスシテ閉會セラレタリ

○六　市制又ハ區制施行地内ノ有租地ニ關スル法律案

明治三十九年二月十四日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣法學博士阪谷芳郎連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ヲ可決シ三月二十六日本院ニ送付セリ

本案ハ其ノ第一讀會ヲ開クニ至ラスシテ閉會セラレタリ

○撤回セラレシモノ

○一　明治二十九年法律第六十三號ニ代ルヘキ法律案

明治三十九年三月十七日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、内務大臣原敬連署提出

明治三十九年三月十九日本案ノ第一讀會ヲ開ク内務大臣原敬本案提出ノ旨趣

ヲ辯明ス小松原英太郎、奥山政敬、伊澤修二各、本案ニ付質問ヲ爲シ内務大臣原敬各質問ニ答辯ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

公爵　二條基弘　伯爵　柳澤保惠　子爵　水野直
男爵　前島密　都筑馨六　菊池武夫
古莊嘉門　穗積八束　鎌田勝太郎

本委員ハ三月二十二日公爵二條基弘ヲ委員長ニ、伯爵柳澤保惠ヲ副委員長ニ擧ク而シテ未タ本案ノ審査ニ着手スルニ至ラス同月二十五日政府ハ議院法第三十條ニ依リ本案ヲ撤回セリ本案ハ載セテ速記錄第十六號ニ在リ

○第二　衆議院提出案

衆議院提出案ハ二十三件ニシテ其ノ可決シタルモノ十二件、否決シタルモノ二件、議決ニ至ラサリシモノ九件トス

可決シタルモノ

一　災害地方田畑地租免除ニ關スル法律案(百五十八頁)
一　明治二十九年法律第十三號中改正法律案(百六十頁)
一　裁判所構成法中改正法律案(百六十一頁)
一　傳染病豫防法中改正法律案(百六十三頁)
一　議院法中改正法律案(百六十四頁)
一　屯田兵土地給與規則廢止法律案(百六十六頁)
一　明治三十年法律第四十二號廢止法律案(百六十六頁)
一　債務者ニ代位スル債權者ノ登記申請ニ關スル法律案(百六十七頁)
一　醫師法案(百六十九頁)
一　齒科醫師法案(百七十頁)
一　屠場法案(百七十一頁)
一　明治三十三年法律案第八十六號中改正法律案(百七十三頁)

否決シタルモノ

一　會計法中改正法律案(百七十四頁)
一　質屋取締法中改正法律案(百七十五頁)

議決ニ至ラサリシモノ

一　渡良瀬川沿岸地方特別地價修正法律中改正法律案(百七十六頁)

一　東京市制案(百七十七頁)

一　明治三十八年法律第七十號中改正法律案(百七十八頁)

一　民事訴訟法中改正法律案(百七十八頁)

一　衆議院議員選擧法中改正法律案(百七十九頁)

一　癩豫防法案(百七十九頁)

一　狩獵法中改正法律案(百七十九頁)

一　辯護士法中改正法律案(百七十九頁)

一　監視廢止ニ關スル法律案(百七十九頁)

右各議案ニ付左ニ其ノ議事ノ經過及結果ヲ略述ス

○可決シタルモノ

○一　災害地方田畑地租免除ニ關スル法律案

明治三十九年二月二十二日提出

明治三十九年二月二十六日本案ノ第一讀會ヲ開ク伯爵德川達孝政府ハ本案ニ對シ同意セルヤ否ヲ問ヒ大藏大臣阪谷芳郎同意ノ旨ヲ答ヘ併セテ本案ニ對スル政府ノ意見ヲ述ヘ次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ委員ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　柳原義光　　子爵　大田原一清　　男爵　伊達宗敦

男爵　千田貞曉　　石井省一郎　　西村亮吉

關清英　　村井彌兵衞　　坂本理一郎

本委員ハ二月二十七日伯爵柳原義光ヲ委員長ニ、子爵大田原一清ヲ副委員長ニ擧ケ即日會議ヲ開キテ審査ヲ了リ同日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月三日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク委員長伯爵柳原義光本案ノ委員會ニ於ケル審査ノ經過及結果ヲ議院ニ報告シ伯爵正親町實正、子爵谷干城各〻本案贊成ノ意見ヲ述ヘ此ニ大體議ヲ了リ議院ハ議院法第二十七條但書ニ依リ三讀會ノ順序ヲ省略シテ本案ヲ可決セリ本案ハ裁セテ速記錄第十號ニ在リ

三月三日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

災害地方田畑地租免除ニ關スル法律ハ三十九年三月十七日法律第十號ヲ以テ公布セラレタリ

○二　明治二十九年法律第十三號中改正法律案

明治三十九年二月二十七日提出

明治三十九年三月三日本案ノ第一讀會ヲ開キ直ニ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ委員ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　島津忠亮　　子爵　堤　功長　　子爵　錦織敎久

男爵　金子有卿　　男爵　杉溪言長　　三宅　秀

古莊嘉門　　伊澤修二　　佐藤伊左衞門

本委員ハ三月六日伯爵島津忠亮ヲ委員長ニ、伊澤修二ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト二回ニシテ審査ヲ了リ三月二十四日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月二十五日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク委員長伯爵島津忠亮本案ノ委員會ニ於ケル審査ノ經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院ハ本案ニ付第二讀會ヲ開クコトヲ議決シ貴族院規則第六十九條但書及第七十五條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ續テ第二讀會及第三讀會ヲ開キテ本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第十一號ニ在リ

三月二十五日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

明治二十九年法律第十三號中改正法律ハ三十九年四月七日法法第三十號ヲ以テ公布セラレタリ

○三　裁判所構成法中改正法律案

明治三十九年三月三日提出

明治三十九年三月九日本案ノ第一讀會ヲ開ク司法大臣松田正久政府ニ於テ本案ニ同意セル旨趣ヲ辯明シ名村泰藏贓物ニ關スル罪外一件ニ付質問シ政府委

員司法省民刑局長平沼騏一郎之ニ答辯シ次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ委員ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

子爵　新莊直陳　　男爵　梅小路定行
男爵　淺野守夫　　馬屋原彰
野崎啓造　　田島竹之助
男爵　南岩倉具威　　奥山政敬
村岡淺右衛門

本委員ハ三月十日奥山政敬ヲ委員長ニ、子爵新莊直陳ヲ副委員長ニ擧ケ即日會議ヲ開キテ審査ヲ了リ同日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月十三日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク委員長奥山政敬本案ノ委員會ニ於ケル審査ノ經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院ハ議院法第二十七條但書ニ依リ三讀會ノ順序ヲ省略シテ本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第十三號ニ在リ

三月十三日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

裁判所構成法中改正法律ハ三十九年五月八日法律第五十號ヲ以テ公布セラレタリ

○四　鴛病豫防法中改正法律案

明治三十九年三月十日提出

明治三十九年三月十六日本案ノ第一讀會ヲ開ク千坂高雅政府ハ本案ニ對シ同意セルヤ否ヲ問ヒ政府委員農商務省農務局長酒勾常明政府ハ本案ノ改正ヲ必要ト認メサル旨ヲ答ヘ次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ委員ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

侯爵　松平康荘　　子爵　伏原宣足
子爵　大宮以季
徳久恒範　　男爵　青山元　　男爵　千秋季隆
三宅秀　　千坂高雅　　岩月直彦

本委員ハ三月十九日侯爵松平康荘ヲ委員長ニ、千坂高雅ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ三月二十日副委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月二十二日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク副委員長千坂高雅本案ノ委員會ニ於ケル審査ノ經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院ハ議院法第二十七條但書ニ依リ三讀會ノ順序ヲ省略シテ本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第十五號ニ在リ

三月二十二日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

鑓病豫防法中改正法律ハ三十九年六月六日法律第五十三號ヲ以テ公布セラレタリ

○五　議院法中改正法律案

明治三十九年三月十日提出

明治三十九年三月十六日本案ノ第一讀會ヲ開キ直ニ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ委員ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

子爵　平松時厚　　子爵　鍋島直虎　　三浦安

古澤滋　　男爵　實吉安純　　男爵　二條正麿

中島永元　　兒玉淳一郎　　宮本谷歳

本委員ハ三月十九日子爵平松時厚ヲ委員長ニ、三浦安ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ三月二十二日委員長ハ本案ヲ否決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月十四日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク委員長子爵平松時厚本案ノ委員會ニ於ケル審査ノ經過及結果ヲ議院ニ報告シ男爵菊池大麓、中島永元ハ各〻委員會ノ否決報告ニ對シ反對ノ意見ヲ述ヘ此ニ大體議ヲ了リ議院ハ本案ニ付第二讀會ヲ開クコトヲ議決シ貴族院規則第六十九條但書及第七十五條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ續テ第二讀會及第三讀會ヲ開キテ本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第十五號ニ在リ

三月二十四日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

議院法中改正法律ハ三十九年五月八日法律第四十九號ヲ以テ公布セラ

レタリ

○六　屯田兵土地給與規則廢止法律案

○七　明治三十年法律第四十二號廢止法律案

明治三十九年三月十三日兩案提出

明治三十九年三月十九日兩案各第一讀會ヲ開ク政府委員陸軍次官石本新六兩案ニ對シ各〻政府ハ同意ヲ表スル旨ヲ述ヘ次テ各特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ屯田兵土地給與規則廢止法律案特別委員ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名シ又明治三十年法律第四十二號廢止法律案ハ貴族院規則第四十八條ニ依リ連繫事件トシテ屯田兵土地給與規則廢止法律案特別委員ニ付託ス

伯爵　大村純雄　子爵　高木正善　子爵　松平康民

男爵　相浦紀道　長谷部辰連　男爵　金子有卿

男爵　安場末喜　湯地定基　木村誓太郎

本委員ハ三月二十二日伯爵大村純雄ヲ委員長ニ、男爵相浦紀道ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト各〻一回ニシテ審査ヲ了リ三月二十四日委員長ハ兩案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月二十五日兩案ノ各第一讀會ノ續會ヲ開ク委員長伯爵大村純雄兩案ノ委員會ニ於ケル審査ノ經過及結果ヲ衆議院ニ報告シ次テ議院ハ兩案ヲ束ネテ議題トスルコトヲ議決シ直ニ兩案ノ大體議ヲ了リ議院ハ議院法第二十七條但書ニ依リ三讀會ノ順序ヲ省略シテ兩案ヲ可決セリ兩案ハ載セテ速記錄第十六號ニ在リ

三月二十五日兩案ノ裁可ヲ奏請シ又兩案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

屯田兵土地給與規則廢止法律ハ三十九年四月十二日法律第四十一號ヲ以テ、明治三十年法律第四十二號廢止法律ハ同日法律第四十二號ヲ以テ號モ公布セラレタリ

○八　債務者ニ代位スル債權者ノ登記申請ニ關スル法律案

明治三十九年三月十七日提出

明治三十九年三月二十二日本案ノ第一讀會ヲ開ク司法大臣松田正久本案ニ對シ政府ノ同意ヲ表スル旨趣ヲ辯明シ次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ委員ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

子爵　大田原ㇾ清　　子爵　本多忠敬　　古澤滋
男爵　本多副元　　男爵　河邊博長　　馬屋原二郎
兒玉淳一郎　　田島竹之助　　辰巳楢太郎

本委員ハ三月二十三日子爵大田原一清ヲ委員長ニ、馬屋原二郎ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ三月二十四日副委員長ヨリ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月二十五日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク副委員長馬屋原二郎本案ノ委員會ニ於ケル審査ノ經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院ハ議院法第二十七條但書ニ依リ三讀會ノ順序ヲ省略シテ本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第十七號ニ在リ

三月二十五日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

債務者ニ代位スル債權者ノ登記申請ニ關スル法律ハ三十九年六月二十二日法律第六十五號ヲ以テ公布セラレタリ

○九　醫師法案

明治三十九年三月十九日提出

明治三十九年三月二十二日本案ノ第一讀會ヲ開キ直ニ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ委員ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　廣澤金次郎　　子爵　堤功長　　男爵　石黒忠悳
男爵　寶吉安純　　男爵　二條正麿　　西村亮吉
三宅秀　　大澤謙二　　山口玄洞

本委員ハ三月二十三日伯爵廣澤金次郎ヲ委員長ニ、子爵堤功長ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト二回ニシテ審査ヲ了リ三月二十四日委員長ハ本案ヲ可決セ

ル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月二十六日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク委員長伯爵廣澤金次郎本案ノ委員會ニ於ケル審査ノ經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院ハ本案ニ付第二讀會ヲ開クコトヲ議決シ貴族院規則第六十九條但書及第七十五條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ續テ第二讀會及第三讀會ヲ開キテ本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第十七號ニ在リ

三月二十六日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

醫師法ハ三十九年五月二日法律第四十七號ヲ以テ公布セラレタリ

○十　歯科醫師法案

明治三十九年三月二十二日提出

明治三十九年三月二十四日本案ノ第一讀會ヲ開キ直ニ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十八條ニ依リ連繫事件トシテ本案ノ審査ヲ醫師法案特別委員ニ付託ス

本委員ハ會議ヲ開クコト一回ニシテ本案ノ審査ヲ了リ三月二十四日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月二十六日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク委員長伯爵廣澤金次郎ハ醫師法案ノ報告ト共ニ本案ノ委員會ニ於ケル審査ノ經過及結果ヲ議院ニ報告シ田中芳男歯科醫師以外ノ專門醫ハ本案中ニ包含スルヤ否ヲ質問シ委員長是等ハ總テ醫師法中ニ包含スル旨ヲ答辯シ此ニ大體議ヲ了リ議院ハ議院法第二十七條但書ニ依リ三讀會ノ順序ヲ省略シテ本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第十八號ニ在リ

三月二十六日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

歯科醫師法ハ三十九年五月二日法律第四十八號ヲ以テ公布セラレタリ

○十一　屠場法案

明治三十九年三月二十三日提出

明治三十九年三月二十四日議事日程ヲ變更シテ本案ノ第一讀會ヲ開キ直ニ特

別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ委員ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　廣澤金次郎　　子爵　竹内惟忠　　名村泰藏
男爵　石黒忠悳　　黒岡帶刀　　德久恒範
男爵　金子有卿　　三宅秀　　本間千代吉

本委員ハ三月二十五日伯爵廣澤金次郎ヲ委員長ニ子爵竹内惟忠ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ三月二十六日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月二十七日本案第一讀會ヲ開ク委員長伯爵廣澤金次郎本案ノ委員會ニ於ケル審査ノ經過及結果ヲ議院ニ報告シ男爵伊達宗敦全國ノ屠場數ニ付質問シ委員長之ニ答辯シ武井守正政府ハ本案ニ對シ同意セルヤ否ヲ問ヒ政府委員内務省衛生局長窪田靜太郎政府ハ本案ニ同意セル旨ヲ答ヘ此ニ大體議ヲ了リ次テ議院ハ議院法第二十七條但書ニ依リ三讀會ノ順序ヲ省略シテ本案ヲ可決セリ本案ハ戴セテ速記錄第十八號ニ在リ

三月二十七日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

屠場法ハ三十九年四月十一日法律第三十二號ヲ以テ公布セラレタリ

○十二　明治三十三年法律第八十六號中改正法律案

明治三十九年三月二十三日提出

明治三十九年三月二十五日本案ノ第一讀會ヲ開キ直ニ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十八條ニ依リ連繫事件トシテ本案ノ審査ヲ關稅定率法改正法律案（政府提出）特別委員ニ付託ス

本委員ハ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ三月二十六日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月二十七日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク副委員長男爵松平正直關稅定率法改正法律案（政府提出）ノ審査報告ト共ニ本案ノ委員會ニ於ケル審査ノ經過及結果ヲ議院ニ報告シ議院ハ政府ノ同意ヲ得テ議事日程ヲ變更シ關稅定率法改正法律案（政府提出）ト束ネテ本案ヲ議題トシ直ニ大體議ヲ了リ議院ハ本案ニ付第二讀會ヲ開

クコトヲ議決シ貴族院規則第六十九條但書及第七十五條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ續テ第二讀會及第三讀會ヲ開キヲ本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第十九號ニ在リ

三月二十七日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

明治三十三年法律第八十六號中改正法律ハ三十九年四月十一日法律第三十六號ヲ以テ公布セラレタリ

○否決シタルモノ

○十三　會計法中改正法律案

明治三十九年三月三日提出

明治三十九年三月九日本案ノ第一讀會ヲ開ク伯爵柳原義光政府ハ本案ニ對シ同意セルヤ否ヲ問ヒ政府委員大藏次官若槻禮次郎政府ハ本案ニ對シ不同意ナル旨ヲ答ヘ併セテ其ノ理由ヲ辯明ス次ヲ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ委員ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　柳澤保惠　　子爵　內田正學　　平山成信

男爵　沖守固　　男爵　紀俊秀　　木場貞長

安廣伴一郎　　鎌田勝太郎　　桑田熊藏

本委員ハ三月十二日伯爵柳澤保惠ヲ委員長ニ、平山成信ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ三月十七日委員長ハ本案ヲ否決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月十九日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク副委員長平山成信本案ノ委員會ニ於ケル審査ノ經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院ハ本案ニ付第二讀會ヲ開カサルコトヲ議決セリ本案ハ載セテ速記錄第十三號ニ在リ

三月十九日本案ニ付第二讀會ヲ開カサルコトヲ議決セル旨ヲ衆議院ニ通知セリ

○十四　質屋取締法中改正法律案

明治三十九年三月十九日提出

明治三十九年三月二十二日本案ノ第一讀會ヲ開キ直ニ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ委員ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　室町公大　　子爵　野宮定穀　　前田正名
徳久恒範　　男爵　南光利　　谷森眞男
馬屋原彰　　宮島誠一郎　　日高榮三郎

本委員ハ三月二十三日谷森眞男ヲ委員長ニ、馬屋原彰ヲ副委員長ニ擧ケ即日會議ヲ開キテ審査ヲ了リ同日委員長ハ本案ヲ否決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月二十五日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク委員長谷森眞男本案ノ委員會ニ於ケル審査ノ經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院ハ本案ニ付第二讀會ヲ開カサルコトヲ議決セリ本案ハ戴セテ速記錄第十七號ニ在リ

三月二十五日本案ニ付第二讀會ヲ開カサルコトヲ議決セル旨ヲ衆院議ニ通知セリ

○議決ニ至ラサリシモノ

○十五　渡良瀬川沿岸地方特別地價修正法律中改正法律案

明治三十九年三月三日提出

明治三十九年三月九日本案ノ第一讀會ヲ開キ直ニ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ委員ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

侯爵　佐竹義生　　子爵　裏松良光　　子爵　水野直
男爵　野村素介　　男爵　赤松則良　　男爵　清水資治
湯地定基　　山田爲暄　　山口玄洞

本委員ハ三月十三日侯爵佐竹義生ヲ委員長ニ、男爵赤松則良ヲ副委員長ニ擧ケ而シテ未タ本案ノ審査ヲ了ルニ至ラスシテ閉會セラレタリ本案ハ戴セテ速記錄第十三號ニ在リ

○十六　東京市制案

明治三十九年三月二十二日提出

明治三十九年三月二十七日本案ノ第一讀會ヲ開キ直ニ特別委員ノ選擧ニ移リ

議院ハ貴族院規則第四十八條ニ依リ連繫事件トシテ本案ノ審査ヲ郡制廢止法律案（政府提出）特別委員ニ付託ス

本案ハ未タ委員ノ審査ヲ了ルニ至ラスシテ閉會セラレタリ本案ハ載セテ速記錄第二十一號ニ在リ

○十七　明治三十八年法律第七十號中改正法律案

○十八　民事訴訟法中改正法律案

明治三十九年三月二十三日兩案提出

明治三十九年三月二十五日兩案ノ各第一讀會ヲ開ク司法大臣松田正久政府ハ兩案ニ對シ同意セサル旨ヲ述ヘ併セテ其ノ理由ヲ辯明シ次テ兩案ノ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ明治三十八年法律第七十號中改正法律案特別委員ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名シ又民事訴訟法中改正法律案ハ貴族院規則第四十八條ニ依リ連繫事件トシテ明治三十八年法律第七十號中改正法律案特別委員ニ付託ス

子爵　前田利定　　子爵　松平親信　　兒島惟謙

男爵　小原　適　　男爵　二條正麿　　奥山政敬

野崎啓造　　男爵　菊池大麓　　森　廣三郎

本委員ハ三月二十六日兒島惟謙ヲ委員長ニ、奥山政敬ヲ副委員長ニ擧ク而シテ未タ本案ノ審査ヲ了ルニ至ラスシテ閉會セラレタリ本案ハ載セテ速記錄第十九號ニ在リ

○十九　衆議院議員選擧法中改正法律案

○二十　癩豫防法案

○二十一　狩獵法中改正法律案

明治三十九年三月二十六日三案提出

○二十二　辯護士法中改正法律案

○二十三　監視廢止ニ關スル法律案

明治三十九年三月二十七日兩案提出

右五案ハ孰モ其ノ各第一讀會ヲ開クニ至ラスシテ閉會セラレタリ

○第三　貴族院議員提出案

本院議員提出ノ法律案ハ左ノ三件ニシテ總テ議決スルニ至ラス

一　東京都制案

一　千代田縣設置ニ關スル法律案

一　東京都千代田縣組合法案

右各議案ニ付左ニ其ノ議事ノ經過及結果ヲ略述ス

○一　東京都制案

○二　千代田縣設置ニ關スル法律案

○三　東京都千代田縣組合法案

明治三十九年三月十四日伯爵清棲家教、男爵松平正直、小松原英太郎、西村亮吉、一木喜德郎連署提出伯爵正親町實正外七十七名贊成

本案ハ孰モ其ノ各第一讀會ヲ開クニ至ラスシテ閉會セラレタリ

○第二節　承諾ヲ求ムルノ件

承諾ヲ求ムルノ件ハ七件ニシテ總テ承諾スルコトヲ議決セリ

一　明治三十八年勅令第百九十四號（百八十一頁）

明治三十七年度豫備金支出ノ件

明治三十七年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

明治三十七年度特別會計豫備金支出ノ件

明治三十七年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算（百八十三頁）

一

外支出ノ件

明治三十七年度清國事件第二豫備金支出ノ件

明治三十七年度臨時事件豫備費支出ノ件

右各件ニ付左ニ其ノ議事ノ經過及結果ヲ略述ス

○一　明治三十八年勅令第百九十四號

明治三十九年一月二十三日承諾ヲ求ムル爲內閣總理大臣兼文部大臣侯爵西園寺公望、陸軍大臣寺內正毅、農商務大臣松岡康毅、外務大臣加藤高明、海軍大臣齋藤實、大藏大臣法學博士阪谷芳郎、遞信大臣山縣伊三郎司法大臣松田正久、內務大臣原敬連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本件ヲ承諾スルコトヲ議決シ三月一日本院ニ送付セリ

明治三十九年三月六日本件ノ會議ヲ開ク大藏大臣阪谷芳郎臨時事件費支辨ノ爲公債募集ノ必要ニ依リ本令ノ發布セラレシ所以ヲ說明シテ之カ承諾ヲ求メ次テ本件特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　萬里小路通房　　子爵　松平直平　　男爵　野田豁通
男爵　西五辻文仲　　男爵　南　光利　　石井省一郎
西村亮吉　　若尾幾造　　下村辰右衞門

本委員ハ三月九日男爵西五辻文仲ヲ委員長ニ、西村亮吉ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ三月十二日委員長ヨリ本件ヲ承諾スヘキモノト議決セル旨ノ報告書ヲ議長ニ提出セリ

三月十三日本件會議ノ續會ヲ開ク副委員長西村亮吉委員會ニ於ケル本件審査ノ經過及結果ヲ議院ニ報告シ議院ハ直ニ本件ヲ承諾スルコトヲ議決セリ

三月十三日本件ヲ奏上シ又本件ヲ承諾スルコトヲ議決セル旨ヲ衆議院ニ通知セリ

○二　明治三十七年度豫備金支金ノ件
○三　明治三十七年度豫備金外ニ於テ豫算外超過及豫算外支出ノ件
○四　明治三十七年度特別會計豫備金支出ノ件
○五　明治三十七年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件
○六　明治三十七年度清國事件第二豫備金支出ノ件
○七　明治三十七年度臨時事件豫備費支出ノ件

明治三十九年二月十四日右六件ヲ束ネテ之カ承諾ヲ求ムル爲內閣總理大臣兼文部大臣侯爵西園寺公望、陸軍大臣寺內正毅、農商務大臣松岡康毅、外務大臣加藤高明、海軍大臣齋藤實、大藏大臣法學博士阪谷芳郎、遞信大臣山縣伊三郎、司法大臣松田正久、內務大臣原敬連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ右六件ヲ承諾スルコトヲ議決シ三月十三日本院ニ送付セリ

三月十三日衆議院ヨリ明治三十七年度豫備金支出ノ內大藏省所管貸附金及文部省所管臨時編書費明治三十七年度豫備金外ニ於テ豫算超

過及豫算外支出ノ內大藏省所管貸附金及文部省所管京都帝國大學福岡醫科大學臨時補足費中俸給及諸給、明治三十七年度特別會計豫備金支出ノ內內務省所管臺灣總督府基隆築港維持費ハ之ヲ承諾スヘカラサルモノト議決セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

明治三十九年三月十六日明治三十七年度豫備金支出ノ件外五件ノ會議ヲ開ク大藏大臣阪谷芳郎各件ニ付速ニ承諾ヲ求ムル旨ヲ述ヘ直ニ之カ特別委員ノ選擧ニ移リ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

子爵　竹內惟忠　　子爵　大久保忠順　　小牧昌業
男爵　鈴木大亮　　男爵　眞田幸世　　男爵　諫早家崇
谷森眞男　　金井之恭　　谷井勘藏

本委員ハ三月十九日子爵竹內惟忠ヲ委員長ニ、谷森眞男ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ各件ノ審査ヲ了リ三月二十日委員長ヨリ各件ヲ承諾スヘキモノト議決セル旨ノ報告書ヲ議長ニ提出セリ

三月二十四日各件會議ノ續會ヲ開ク特別委員長子爵竹內惟忠委員會ニ於ケル各件審査ノ經過及結果ヲ議院ニ報告シ次テ各件ヲ束ネテ議題トシ議院ハ異議ナク全部承諾スルコトヲ議決セリ

三月二十四日六件ヲ奏上シ又六件ヲ承諾スルコトヲ議決セル旨ヲ衆議院ニ通知セリ

○第三節　豫算案及豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

豫算案及豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件ハ左ノ十二件ニシテ其ノ可決シタルモノ十一件、否決シタルモノ一件トス

○可決シタルモノ

一　臨時軍事費豫算追加案(臨時事件豫備費)(百八十七頁)
一　明治三十八年度歲入歲出總豫算追加案(內務、大藏、司法、文部、農商務、遞信各省所管)(百八十七頁)
一　明治三十八年度歲入歲出總豫算追加案第二號(內務、大藏、司法、文部、農商務、遞信各省所管)(百八十七頁)

一　明治三十八年度各特別會計歲入歲出豫算追加案（特第一號臺灣總督府、京都帝國大學、官設鐵道諸費）（百八十七頁）

一　明治三十九年度歲入歲出總豫算案並明治三十九年度各特別會計歲入歲出豫算案（百八十七頁）

一　明治三十九年度歲入歲出總豫算追加案（第二號外務、內務、大藏、海軍、司法、文部、農商務、遞信各省所管）（百九十頁）

一　明治三十九年度歲入歲出總豫算追加案（第三號內務、陸軍、農商務各省所管）（百九十一頁）

一　明治三十九年度各特別會計歲入歲出追加案（特第一號鐵道事業公債及鐵道公債募集金）（百九十頁）

一　豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件（總豫算案附屬）（百八十七頁）

一　豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件（追第一號海軍工廠資金材料品費）（百八十八頁）

一　豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件（追第二號在外公館家屋借料、稅關假置場地所借入）（百九十一頁）

否決シタルモノ

一　明治三十九年度歲入歲出總豫算追加案（第一號稅法調查會費）（百九十二頁）

右各案ニ付左ニ其ノ議事ノ經過及結果ヲ略述ス

○可決シタルモノ

○一　明治三十九年度歲入歲出總豫算案並明治三十九年度各特別會計歲入歲出豫算案

○二　豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件（總豫算案附屬）

○三　臨時軍事費豫算追加案

○四　明治三十八年度歲入歲出總豫算追加案（第一號臨時事件豫備費）

○五　明治三十八年度歲入歲出總豫算追加案（第二號內務、大藏、司法、文部、農商務、遞信各省所管）

○六　明治三十八年度各特別會計歲入歲出豫算追加案（特第一號臺灣總督府、京都帝國大學、官設鐵道諸費）

○七　豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號　海軍工廠資金材料費　物品費)

明治三十九年一月二十五日明治三十九年度各特別會計歳入歳出豫算案、臨時軍事費豫算追加案、明治三十八年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)、明治三十八年度歳入歳出豫算追加案(特第一號)ノ五案ハ各〻内閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣侯爵阪谷芳郎連署、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(總豫算案附屬)ハ内閣總理大臣兼文部大臣侯爵西園寺公望、陸軍大臣寺内正毅、農商務大臣松岡康毅、外務大臣加藤高明、海軍大臣齋藤實、大藏大臣法學博士阪谷芳郎、遞信大臣山縣伊三郎、内務大臣原敬連署、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)ハ内閣總理大臣侯爵西園寺公望、海軍大臣齋藤實、大藏大臣法學博士阪谷芳郎連署衆議院ニ提出セリ

衆議院ニ於テハ明治三十九年度歳入歳出總豫算案並明治三十九年各特別會計歳入歳出豫算案、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(總豫算案附屬)ニ修正ヲ加ヘ臨時軍事費豫算追加案(明治三十八年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)、同(第二號)、明治三十八年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(第一號)、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)ヲ可決シ三月六日各〻之ヲ本院ニ送付セリ

明治三十九年二月十四日各案ノ審査期限ヲ定ムルノ會議ヲ開ク大藏大臣阪谷芳郎政府ハ豫算案ニ對スル衆議院ノ修正ニ同意シタル旨ヲ述ヘ次テ議院ハ各案ノ審査期限ヲ三月五日ト定メテ之ヲ豫算委員ニ付託ス

豫算委員ハ各案ヲ各分科ニ付シ二月二十八日各分科會ノ審査ヲ了リ三月五日豫算委員總會ヲ開キテ各案ヲ可決シ同日豫算委員長ハ各案總テ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノト議決セル旨ノ報告書ヲ議長ニ提出セリ

三月六日各案ノ會議ヲ開ク豫算委員長伯爵正親町實正各案ノ委員會ニ於ケル審査ノ經過及結果ヲ述ネテ議院ニ報告シ次テ明治三十九年度歳入歳出總豫算